

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
【A 社会】政治・経済・法律・現代社会・地域社会・歴史・地理・民俗・宗教・哲学								
A1	総合人間科学系	助手	李 素婷	持続可能な地域づくり—今世界的に見直されている地域の価値とは—	「持続可能」という言葉は身近なものとなってきましたが、地域づくりにおいては具体的にどのようなことが評価されるのでしょうか。地域の豊かな自然環境、代々受け継がれてきた生活文化の価値に注目する、「ユネスコエコパーク」という認証制度があります。その仕組み及び実際に登録されている地域の取り組みと照らし合わせて、自分たちの地域の価値を一緒に見つけてみませんか。	高・一般	講義形式 (要望によりワークショップ形式も可)	
A2	総合人間科学系	教授	大塚 勉	地質遺産・文化財やジオパークから学ぶ防災	「災害は忘れた頃にやってくる」と言われます。地震などの自然災害の再来周期は、人間の一生に比べて長いことが多いです。災害の歴史は、地質関連の文化財として保存されています。それらは、最近整備されているジオパークで体験的に学ぶこともできます。講座では、地質関連の文化財やジオパークを楽しみながら防災を実現することについてご案内します。	一般	講義	
A3	総合人間科学系	准教授	林 靖人	「ブランドって何？」—企業・地域・自分のブランドを知る・創るためには—	ブランドは企業や製品だけではなく、地域や人(個人)にとっても必要不可欠なものとなりました。「強く」「好ましく」「ユニーク」なブランドが構築できれば、他との差別化が可能になり、競争優位を得ることができます。しかし、ブランドとはそもそも何でしょうか？どうやったら創れるのでしょうか？その秘密を「心理学」という分野の研究成果を体験しながら、一緒に考えたいと思います。	高・一般	講義形式 (ただし、聞くだけでなく、参加型で考える内容(ミニ演習や体験・実験)を主とする) ・希望によりWorkShop形式も実施可能	
A4	総合人間科学系	准教授	分藤 大翼	アフリカの森に住む狩猟採集民の暮らし	アフリカの森は私たちの遠い祖先が暮らした場所です。そして今も、その昔から営まれてきた狩猟採集という生き方を続けている人々がいまいます。彼らは森のなかで、自然の恵みを受けて生きています。私たちとアフリカの森に暮らす人たちの違いは、どのようなものでしょうか。現地を撮影した映像を見ながら、私たちがよりよく生きてゆくためのヒントを、森の民の暮らしのなかを探ります。	小・中・高・一般	講義・上映あり(グループワークあり)	
A5	総合人間科学系	准教授	光山 博敏	日本のものづくりの底力	グローバル競争が激化する今日、日本のお家芸であるものづくりは今後も競争力を発揮していくことは可能なのだろうか。特に大手メーカーに部品を供給する中小中堅メーカーの底力に焦点を当て解説します。	高・一般	講義	
A6	人文科学系	准教授	黒田 祐我	スペインの文化と歴史	我々が「欧米」と聞いて、どのようなイメージを思い浮かべるでしょうか？おそらくアメリカ、フランス、ドイツなどの「洗練された文化」が思い浮かぶでしょう。しかし「欧米」は多様性に満ちています。本講義では、歴史をひもときながら、「もうひとつの欧米」としてのスペインの現在の文化(言語、習慣、食事など)の成り立ちを紹介していきます。	高・一般	講義	
A7	教育学系	教授	阿久津 昌三	何となく遠いアフリカ、でも何か面白そう	文化人類学はとて広い領域から成り立っています。タイトルにあるように「何となく遠いアフリカ、でも何か面白そう」と思ったら、どんなジャンルの話でも出前講座をします。音楽、仮面、王様のこと…。	小、中、高、一般	講義	
A8	教育学系	教授	石澤 孝	信濃の国におけるまちの起源と成長物語	長野と松代、松本、伊那と高遠など、県内のいくつかの事例を通してまちが発展するための要因についてお話します。また、詳しい内容については相談いたします。	小、中、高、一般	講義	
A9	教育学系	教授	石澤 孝	まちづくり入門	まちづくり・地域活性化の事例を提示しながら、地域住民がまちづくり・地域づくりを進めるための基礎的手法等についてお話します。なお、詳しい内容については相談いたします。	小、中、高、一般	講義	
A10	教育学系	教授	石澤 孝	少子高齢化社会における公共交通問題	少子高齢化が進み、様々な社会問題が生じています。公共交通問題もその一つです。ここでは、地域住民の足を確保するための公共交通とそのあり方についてお話します。なお、詳しい内容については相談に応じます。	一般	講義	
A11	教育学系	准教授	関 良徳	法律とは何か ～様々な事例から考える～	日常生活に生起する様々な法律上の問題について、その基礎にある問題を具体的な事例に即してお話します。	中、高、一般	講義	
A12	教育学系	准教授	友川 幸	グローバル人材養成講座-郷に入っては郷に従え?-	グローバル化の進展とともに、国際社会で活躍できるグローバル人材の養成が求められています。アジアやアフリカでの教育実践やフィールド研究の経験をもとに、コミュニケーション能力や異文化理解の必要性など、国際社会において求められる資質について考えていきます。	小、中、高、一般	要相談	
A13	教育学系	教授	藤森 ゆうじ	昔話・民話のナゾを解く	花咲翁はどうして枯れ木に灰をまいたのか。国語の教科書に最もたくさん登場する動物はなぜ狐なのか。妖怪たちはどうして辻(十字路)に現れることが多いのか。昔話・民話には、素朴だけれど奥の深いナゾが一杯です。そのいくつかに迫りながら、日本人とは何かを考えてみます。	中、高、一般	講義	
A14	社会科学系	教授	岩崎 徹也	世界経済の見方	世界経済の発展をどう見るのかを解説します。	高	講義	
A15	社会科学系	教授	岩崎 徹也	エネルギー問題入門	石油を中心としたエネルギー情勢を基本から解説します。	小、中、高、一般	講義	
A16	社会科学系	准教授	大江 裕幸	行政と市民	行政と市民との間の法的な関係について、具体的な制度、近時の具体的なトピックなど、要望に応じて解説を行います。情報公開、個人情報保護、住民投票、住民訴訟、まちづくり、新聞記事の解説などを念頭においていますが、可能な限り様々なテーマに対応しますので、ご相談ください。	高、一般	講義	
A17	社会科学系	教授	金 早雪	アジア経済を学ぶ	韓国を中心に、アジア諸国の経済発展の実態について、高校での学習内容を踏まえつつ、日本との比較や関係を交えて考察します。	高、一般	講義	
A18	社会科学系	教授	三枝 有	犯罪と法	現代社会で多発している様々な犯罪現象について刑法はどのように考え、定めているのか、そして法はどのような対処を妥当なものと考えているのかを分かりやすく考えていきます。	高、一般	講義	
A19	社会科学系	准教授	関 利恵子	ナイスな会社をつまげよう	ナイスな会社＝「良い企業」とはどんな企業だろうか。「良い企業」の基準は人それぞれ様々であり、製品や商品が売れて売上高の高い企業が良い企業であったり、借金をしていない企業が良い企業であったりする。本講座では、財務諸表を使って、企業の様々な側面を探ります。と同時に、企業の環境に対する取り組みについても説明します。	中、高、一般	講義	
A20	社会科学系	教授	徳井 丞次	生産性と日本の経済成長	日本の産業の生産性についての最近の研究成果に基づき、マクロ経済の観点から見た生産性の意義と、生産性から見た日本経済の現状について講義します。講義の組み立ての一例を挙げると、①経済成長と財政再建、②生産性と経済成長、③生産性の産業間波及効果、④生産性と資源配分などです。	高	講義	
A21	社会科学系	教授	長瀬 一治	中小企業と会社法の活用	中小企業の経営、企業継承等に会社法をどう活用するか、具体的事例を中心に検討いたします。	一般	講義	
A22	社会科学系	教授	長瀬 一治	金融・資本市場と法制度	経済のグローバル化にともない、金融・資本市場でも、市場間の競争が激しさを増しています。世界のお金の流れが、日本を素通りしているともいわれます。そんな中で、投資や資金調達の制度はどうあるべきか、を考えます。	高、一般	講義	
A23	社会科学系	教授	成澤 孝人	憲法とは何か	憲法とは、法律や行政が基本的人権を侵害しないように国民が定めた「高次の法」であり、私たちの生活に大きく関わっています。講義では、憲法の歴史、機能、法律との関係について解説し、現代社会において日本国憲法がどのような役割を果たしているのか、考えてみたいと思っています。	高、一般	講義	
A24	社会科学系	准教授	広瀬 純夫	身近なトピックスを、経済学的視点で考えてみる	高校生が身近に感じるトピックスを取り上げ、経済学的視点で考えてみると、意外な事実を発見できることを紹介します。たとえば、「未婚が既婚かという差だけで男性の賃金は異なるのか?」「果たして大相撲に八百長はあるのか?」といったことを、経済学的に考えてみます。	高	講義	
A25	社会科学系	准教授	丸橋 昌太郎	最新犯罪関連ニュース解説	最新の犯罪関連ニュースについて、刑事法学の観点から解説を加えます。取り上げるニュースについては、聴講者の希望に応じます。法学にはあまり馴染みのない高校生等には、法学の基礎的なことからわかりやすく解説をします。	高、一般	講義	
A26	社会科学系	准教授	丸橋 昌太郎(代表者)	高校生が出会う法律問題—知らなきゃ損する法律学	実は、高校生も、日常生活の中で多くの法律問題に接しております。法律学は、知らなければ損すること、知っていれば得ることなど盛りだくさんです。法律学といえば固いイメージがあると思いますが、この講座では、なるべく高校生に身近な問題を取り上げて、法律学の楽しさをお伝えしたいと思います。	高	講義	
A27	社会科学系	教授	美甘 信吾	国際社会の課題	経済金融危機・貧困・紛争・環境問題等、国際社会は多くの共通の課題に直面しています。地球規模で解決が模索される問題について理解し、その解決のために私たちに何ができるのか、考えてみたいと思います。	高、一般	講義	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
A28	社会科学系	教授	美甘 信吾	グローバル社会と教育	グローバル化により社会の変化が激しくなっているとされています。日本企業も国境を超えて経済活動を行っています。では、グローバル化とは、どのような現象なのでしょう。私達の暮らしには、どのような影響があるのでしょうか。グローバル社会で生きる若い世代を育てるために、教育はどのように変わる必要があるのでしょうか。問題を整理したいと思います。	高、一般	講義	
A29	社会科学系	教授	美甘 信吾	主権者教育	民主的な政治制度では、選挙権を持つ人々は主権者として政治に参加することが求められます。そもそも民主主義とは何か。主権者の役割とは何か。主権者として政治に参加し、政治家により政策判断を促すために、どのような知識や能力が必要なのでしょう。主権者教育について論点を整理し解説します。	高・一般	講義・グループワークあり	
A30	社会科学系	教授	山沖 義和	マイナンバー制度の概要：その目的と行方	2015年10月からマイナンバーの通知が始まりましたが、何か変わりましたでしょうか？実は、マイナンバーを本格的に利用する情報連携は2017年1月から始まります。今回の出前講座では、財務省・厚生労働省等で勤務した経験を踏まえ、マイナンバー制度の目的や仕組みなどの概要とともに、利用範囲の拡大について分かり易く解説します。	中・高・一般	講義	
A31	社会科学系	教授	山沖 義和	待ったなしの社会保障制度改革：私たちに未来はあるのか？【総論編】	予算に占める社会保障費の割合は3割を超え、その金額は、毎年、約1兆円ずつ増えており、社会保障制度改革は待ったなしの状況にあります。しかし、その改革の方向性についてはあまり知られていません。財務省・厚生労働省等で勤務した経験を踏まえ、社会保障制度の概要や課題・対策について解説します。総論と各論を併せて講習することも可能です。	中・高・一般	講義	
A32	社会科学系	教授	山沖 義和	待ったなしの社会保障制度改革：私たちに未来はあるのか？【各論編：年金・医療・介護】	予算に占める社会保障費の割合は3割を超え、その金額は、毎年、約1兆円ずつ増えており、社会保障制度改革は待ったなしの状況にあります。しかし、その改革の方向性についてはあまり知られていません。財務省・厚生労働省等で勤務した経験を踏まえ、社会保障制度の概要や課題・対策について解説します。総論と各論を併せて講習することも可能です。	中・高・一般	講義	
A33	農学系	講師	浜野 充	開発途上国の農業・農村開発	JICA青年海外協力隊や技術協力プロジェクト専門家としてホンジュラスやカンボジアの農業・農村開発に携わってきた経験をベースに、開発途上国の課題や持続的な発展を目指した活動を紹介いたします。また、日本と中米・東南アジアの国々の食文化や生活スタイルの違いなどについても現地での経験談を交えてお話しします。	小・中・高・一般	講義	
A34	農学系	講師	浜野 充	グローバル課題：人口増加と食料生産、環境問題について	急増する世界の人口の約8割を占める開発途上国の農業の課題や農村の貧困、環境問題などグローバルな課題について、国際協力の現場の経験を生かしながら理解を深めるとともに、日本の低い食料自給率や消費の変化、少子化・過疎化による農業・農村維持の課題について考察します。	小・中・高・一般	講義	
A35	農学系	講師	浜野 充	日本の国際協力と国際協力キャリア形成（JICA青年海外協力隊、技術協力プロジェクト、草の根プロジェクトの経験から）	JICA青年海外協力隊や技術協力プロジェクト専門家としてホンジュラスやカンボジアの農業・農村開発に携わってきた経験をベースに、国際協力のキャリア形成の方法やノウハウなどをわかりやすく紹介します。また、中米・東南アジア、イギリスでの仕事・留学の経験から、日本とは異なった食文化や生活スタイル、習慣、考え方のなかで生活し仕事をすることの困難さや楽しさについても紹介したいと思います。	小・中・高・大学	講義	
A36	農学系	講師	浜野 充	大学による研究・教育・国際協力が生み出す地域循環：グローバル人材育成と地域連携	信州大学農学部が産学官連携の拠点となり、開発途上国の大学と人材交流・共同研究を推進し、国際協力事業の展開を目指しています。海外と日本の農業・農村を結びつけ、人々が循環し滞留する拠点づくりとともに、交流・協働の経験によるグローバル人材育成を進めていきます。大学だからこそできる国際協力と地域貢献の在り方を提案します。	高・一般	講義	
【B 科学】化学・数学・物理・工学(土木・建築・コンピューター関連以外)								
B1	総合人間科学系	准教授	有路 憲一	脳のお話しー脳の不思議を探る	脳は、わたしたちのココロや行動や、モノの見方までありとあらゆることにつながっています。毎回、私たちの身近にあるいろいろなトピックを「窓」にして、脳の不思議を探っていきます。そこには驚くような不思議が待っています。	小、中、高、一般	講義	
B2	総合人間科学系	准教授	金沢 謙太郎	開発と環境	熱帯産の一次産品(木材、パーム油、バナナ、エビなど)を事例に、開発・生産・流通・消費という一連の流れの中で、アジアの現地社会と私たちとどうかかわっているか、また両者が抱える問題について考えます。	小・中・高・一般	講義	
B3	総合人間科学系	教授	鈴木 治郎	数を読む、グラフを読む	コンピュータ利用の浸透に伴い世の中には数値情報やグラフ情報があふれ変えるようになりました。しかし「数値は桁数が多い方が正確なの？」とか「グラフは色分けすると読みやすいの？」などの問題にダメ回答の事例がマスコミ報道でもたくさんあります。そんな数値情報の正しい読み方をいっしょに考えてみましょう。本講座では受講対象に応じて扱う問題や演習内容を環境、健康、教育など設定します。	中・高・一般	講義(含む演習)	
B4	総合人間科学系	教授	鈴木 治郎	浜村渚と学ぶ数学の世界	『浜村渚の計算ノート』は青柳碧人作のライトノベルであり、中学生の数学好き少女である浜村渚が、数学の力で事件を解決して行くミステリー作品です。浜村渚と一緒に数学を学びながら、問題解決してみませんか。	中・高・一般	講義(含む演習)	
B5	総合人間科学系	教授	高野 嘉寿彦	数を楽しむ	数は私たちが幼い頃より慣れ親しんできたものです。日ごろ何気なく使っている数は大変興味ある性質を持っています。例えば、1+3=4=2×2、1+3+5=9=3×3、・・・のように1から順にn個の奇数を加えると、その値はn×nになることがわかります。このように数のもつ簡単に美しい性質を見ていきます。	中、高、一般	講義、実習あり	
B6	総合人間科学系	教授	矢部 正之	ものの成り立ちと私たちの生活	もの(物質)の究極の構造から、それが私たちの生活にどのように影響しているのか、役立っているのかを解説します。	中、高	講義	
B7	教育学系	准教授	伊藤 冬樹	光でみる分子の世界	光を使って分子の構造や性質を調べたり、光合成のような光を使った反応および太陽電池などを研究している光化学の導入的な講義を行い身近な化学現象と光との関係を探ります。また、光によって色が変わる有機分子の合成や蛍の光の再現実験、簡単な分光器の作成も実施可能です。	小、中、高、一般 (対象により内容は変更します)	希望に応じて対応可	
B8	教育学系	准教授	神原 浩	超低温の世界	液体窒素(-196℃)を用いた低温実験を行います。身近な空気も低温では目に見えるようになります。液体になった酸素はどのような性質を持っているのでしょうか？また、金属を低温に冷やしてみると電気抵抗はどうなるのでしょうか？低温で現れる超伝導現象も見てみましょう。	小・中・高	講義・実験	
B9	教育学系	教授	佐藤 運海	環境にやさしい電気・電子材料の表面処理法	電気・電子材料の加工および表面処理に多量な薬液を使用しており、環境および人体に悪影響を与えています。環境にやさしい、人体に悪影響を与えない、使用後の廃棄処理を必要としない電解水による処理法を紹介します。	高、一般	講義、実験あり	
B10	教育学系	教授	天谷 健一	磁石の科学	私たちの生活の中のいろいろな場面で磁石が活躍しています。磁石に関する基本から応用までを、簡単なデモンストラーション実験を交えて解説します。	中・高・一般	講義・実験あり	
B11	社会科学系	教授	椎名 洋	統計的決定理論とは何か？	何か決定を下すとき、人間は情報(データ)を収集し、それに基づいて決定を下すことが多いわけですが、そのような人間の行動を、数理的なモデルに基づいて解析しようとするのが、統計的決定理論です。その仕組み、有効性を、高校レベルの数学の知識を前提に、紹介します。	高、一般	講義	
B12	理学系	教授	天児 寧	磁石でおもしろ実験	鉄が磁石につくのはなぜでしょう。水や銅板、液体酸素などと強力磁石との作用を観察したり、簡単なダンボールスピーカー等を通して、磁石の持っている不思議な力を体験します。	小、中、高、一般	演示実験あり	
B13	理学系	教授	尾関 寿美男	ふしぎな磁石ワールド	磁石どうしは引き付けあったり、反発したり、不思議な力です。物どうしでは何も起こらないのに、一方を磁石にすると鉄は引き付けられます。では反発されるものはあるのでしょうか。実は、水は強い磁石に反発し、逃げ出します。よく知られた役に立つ磁石の科学とともに、「磁石の不思議ワールド」を探検し、見て、さわって、作って、夢を見てみましょう。	小、中、高	講義、実習・実験あり、実験あり	
B14	理学系	教授	小竹 悟	一般相対性理論及び関連する宇宙論の紹介	重力の理論としてニュートンの万有引力の法則を御存知ですか。それにとって代わったのがアインシュタインの一般相対性理論です。宇宙はいつ始まり、どの様に進化し、どの様な構造をしているかは興味の持たれる所ですが、現代の宇宙論は一般相対性理論をはじめとして様々な物理学の知識を用いて調べられています。本講座では、一般相対性理論及び関連する宇宙論の簡単な紹介を行います。	一般	講義	
B15	理学系	教授	川村 嘉春	現代の宇宙像	現代の標準的な宇宙像およびそれを超える試みについて紹介します。	高、一般	講義	
B16	理学系	教授	川村 嘉春	現代の素粒子像	現代の標準的な素粒子像およびそれを超える試みについて紹介します。2008年度ノーベル物理学賞の受賞対象となった「自発的対称性の破れ」や「CP不変性の破れ」、2013年度ノーベル物理学賞の受賞対象となった「ヒッグス粒子」、2015年度ノーベル物理学賞の受賞対象となった「ニュートリノ振動」に関して解説します。	高、一般	講義	
B17	理学系	教授	竹下 徹	宇宙の始まりと最小粒子	私たちの体や宇宙を形づくる最小の構成要素とその始まりについてお話しします。	小、中、高、一般	講義	
B18	理学系	教授	竹下 徹	光の速さ	光の速さを目の前で測り実感できます。	小、中、高、一般	講義と演示実験	
B19	理学系	教授	竹下 徹	Higgs 粒子発見！	ヒッグス粒子は宇宙の初まり(ビッグバン)直後に生まれ、すべての粒子に質量を与える根源です。ヒッグス粒子は2012年にCERN研究所で発見され、2013年のノーベル物理学賞の理由とされました。50年前に予言された粒子が見つかりました。発見の物語とその意味について話します。	小、中、高、一般	スライドによるお話し	
B20	理学系	教授	竹下 徹	身の回りの放射線	身の回りには放射線が注目をされています。これの存在と共存するためには、それを知り測る事によって影響の大きさを評価できます。物理学の観点から放射線の存在と測り方についてお話しし、実際に測ってみます。	小、中、高、一般	講義と演示実験	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
B21	理学系	教授	樋上 照男	はかつてなんぼ～分析化学入門～	最終氷河期が終わった1万3千年前から、人は「対象物」をはかることによって文明や文化を築いてきました。現代の繁栄は、近代において「定量的にはかる」ことを見出したことによる、と言っても言いすぎではありません。この講座では、化学物質の測り方について、化学が近代科学として成長していく歴史的な過程を追いながら、現代化学の発達の考え方や最新測定法について分かりやすく解説します。	中、高、一般	講義	
B22	理学系	教授	宗像 一起	宇宙線と宇宙	銀河の彼方から飛来する宇宙線は、宇宙の姿を伝えるメッセンジャーとして注目されています。この宇宙線とその観測について紹介し、それからどんな事が判るのか説明します。	高、一般	講義	
B23	理学部	特任教授	吉野 和夫	水爆と原発、その科学的真実	2016年1月6日、北朝鮮が小型の水爆の実験に成功したと発表しました。水爆かどうかの真偽はともかくとして、水爆は原発と関連があります。その関連を科学的にわかりやすく解説します。	高・一般	講義	○
B24	工学系	教授	伊東 栄次	次世代照明と太陽電池の話	電気を光に、光を電気に変える次世代照明や光発電の現状と将来について解説します。照明については、LED、有機EL(OLED)の話から従来の照明器具と比較しながら説明し、その省エネ効果や可能性について解説します。また、これと逆の働きをする太陽電池や光センサーの基本動作の解説と応用についても紹介します。	中・高・一般	講義	
B25	工学系	教授	伊東 栄次	身の回りのエレクトロニクスのお話	エレクトロニクス＝電子工学は半導体を中心とした集積回路、電力制御技術、センサ、テレビなどの家電製品、情報通信技術、太陽光発電等とあらゆる所で使われていますが、あまりに広がりすぎたためにかえってイメージがぼやけてしまっている場合も多いようです。本講義では、エレクトロニクスの初歩的な話と、昔と今、これから期待される分野について例を挙げて紹介します。	中・高・一般	講義	
B26	工学系	教授	河邊 淳	偶然性と曖昧さの数理－不確かさをどう測る？	この世の中には、大きく分けて2種類の俗に言ういい加減さがあります。一つは、サイコロを投げたときにどの目が出るかといった不確かさ(偶然性)、もう一つは、人間の言葉や行動の中に潜む曖昧さです。この講座では、不確かさを測る尺度として、世界で最初に発見され、目下のところ最も有力なシャノン・エントロピーについて、シャノンは如何にしてその概念に到達したのかに焦点を当てて解説します。	高、一般	講義	
B27	工学系	准教授	笹森 文仁	音を聞いて、見て、調べて、伝送しよう	音(音階)の波形をパソコン(オシロスコープ)で観測し、波の振幅や周波数、波長の概念を視覚的に解説します。また、人の声をパソコン(オシロスコープとスペクトラムアナライザ)で観測し、同じ発音でも人によって特徴が違うことを解説します。最後に、光を使って声や音楽を伝送する実演を行います。	中・高・一般	実演+講義	
B28	工学系	准教授	笹森 文仁	電波時計のしくみを理解しよう	電波時計の時刻を修正するしくみについて解説します。具体的には、2進数の考え方、電波の性質や振幅変調(AM)について解説し、年月日や曜日、時刻の情報がどのように電波に乗って受信されるか解説します。最後に、疑似的に電波時計の微弱電波を送信する実演を行います。	高・一般	講義(最後に少し実演有り)	
B29	工学系	准教授	柴岩 哲二	光(偏光)を使って物を見てみよう	偏光板を通して透明な物を見ると内部の光に対する性質の違いから綺麗な色模様となって見えます。力を加えて応力変化に対応した色模様の変化(光弾性)の実験や、磁性体内の小磁石の観察、偏光フィルム造り等、実演・体験・物造りのそれぞれの形態での科学教室が可能です。偏光フィルム造りにはお湯とヨウトデンキが必要です。	小、中、高	実習・実技あり、実験あり	
B30	工学系	准教授	柴岩 哲二	ワンチップマイコンを使った電子工作	1つのICチップに総ての機能が詰まったワンチップマイコンを使った電子オルゴールや電子オルガン作りを通して電子工作の楽しさを体験しましょう。半田ごてを使った電子回路の組み立てとプログラムやデーターの書き込みによってオリジナル曲のオルゴール作りが体験できます。※電子部品は用意しますが、部品代(実費350～600円)、半田ごて、半田、ニッパー及びプログラミング用PCが必要です。	中、高	実習・実技あり	
B31	農学系	教授	真壁 秀文	化学と生物の橋渡しをするケミカルバイオロジーの世界	生命現象は、微量な生物活性物質の働きが引き金となって起こります。これらの生物活性物質の化学合成や活性発現のメカニズムさらに薬の応用について平易に解説致します。	高、一般	講義	
B32	農学系	教授	真壁 秀文	クロスカップリング反応のメカニズムと応用	2010年のノーベル化学賞は「クロスカップリング反応」に授与されました。講演者は米国留学中に「クロスカップリング反応」に従事した経験があります。本講義ではそのメカニズムや応用について平易に解説致します。	高、一般	講義、実験あり	
B33	繊維学系	准教授	西井 良典	自然の中の毒と薬	自然界に存在する天然有機物質の中で、毒になるものと薬になるものを紹介していきます。すなわち、これらが生体に劇的な変化を起こす物質(生理活性物質)であることを理解し、毒の研究は薬の研究に直結していることを講義します。例えば、モルヒネ、コデイン、脳内分泌物質、ホルモン、フグ毒、キノコの毒、フェロモンなど。	高・一般	講義	
B34	繊維学系	教授	本吉谷 二郎	楽しい化学実験「試験管の中の不思議」	演示実験とその平易な解説をおこない、化学の面白さ、不思議さを体験していただくことを目的としております。化学反応による色の変化や発光をともなう美しいもの、印象深いものを見ていただいで化学の魅力を知っていただきたいと思えます。少人数の場合は生徒さんに実験に参加していただきます。所要時間は約1時間です。できる限り県内のどこにでも出張してゆきます。	小、中、高	演示実験と解説	
【C 地球・生物】地質・自然災害・生物								
C1	総合人間科学系	教授	大塚 勉	信州の地質の特性と災害	信州には、地震をはじめとして、さまざまな自然災害が起こっています。それらはどのようにして発生するのでしょうか。まず、信州の地質の生い立ちを解説し、そこで起こる災害の発生メカニズムを学びます。必ず起こる災害とどのように向かい合えばよいのかを考えるとさせていただきます。	一般	講義	
C2	総合人間科学系	准教授	金沢 謙太郎	熱帯アジアの森の民	マレーシア、サラワク州の森の民であるブナン人の暮らしを紹介いたします。彼らの居住形態や狩猟採集の活動について報告します。同時に、今日まで熱帯雨林は大規模な開発の波にさらされており、ブナン人たちは抗議の声を上げています。	小・中・高・一般	講義	
C3	人文科学系(信州大学地域防災減災センター)	教授	菊池 聡	防災減災のための心の科学 リスク社会をいかに生きるか	地震にせよ台風にせよ、いわゆる天災を完全に防ぐことはできません。しかし、それが軽微な被害で終わるか、大被害をもたらすかは、私たちの心の構えによって左右されます。災害だけでなく、日頃のリスクとのつきあいも含めて、よりよい生活のための心の科学を解説します。信州大学地域防災減災センターとして担当します。	高・一般	講義	
C4	教育学系	准教授	坂口 雅彦	こんなにわかった!! ショウジョウバエの記憶・学習・行動の遺伝学	英語や公式を簡単に暗記できたらいいですね。このような記憶・学習には脳が重要な働きをしていますが、具体的にどのような仕組みで起きているのでしょうか? 遺伝学のスターであるキヨシヨウジョウバエと最新の技術により、記憶・学習・行動の謎がどんどん解明されています。本講座ではハエで明らかになったことを中心に、記憶学習の謎がどこまで明らかになったか紹介します。	中・高・一般	講義	
C5	教育学系	准教授	竹下 欣宏	御嶽山の生い立ちと2014年噴火	2014年9月27日、突如として噴出した御嶽山。火山としては富士山について日本で2番目に標高の高い山でもあります。この大きな火山の噴火の歴史と2014年の噴火についてわかりやすく解説します。	小・中・高・一般	講義	
C6	教育学系	准教授	竹下 欣宏	長野県の火山と防災	2014年に噴出した御嶽山をはじめ、浅間山、焼岳など長野県にはたくさんの火山があります。どこにどんな火山があるのかを学び、火山災害から身を守るにはどうしたらいいのか、一緒に考えてみましょう。	小・中・高・一般	講義	
C7	教育学系	准教授	竹下 欣宏	地形・地質が語る大地の生い立ち(北信版)	御嶽山の噴火、神城断層地震、南木曾の土石流と2014年の長野県では、様々な地質災害が発生しました。しかし、これらの災害は大地が生きて活動していることの証でもあります。地形や地層、岩石から読み取ることができる長野県北部の大地の生い立ちを紹介します。「この地域のこんな話を聞きたい」などご要望がありましたらお気軽にご相談ください。	小・中・高・一般	講義	
C8	教育学系	准教授	竹下 欣宏	氷河時代の野尻湖～信州にナウマンゾウがいたころ～	今から4万年ほど前の野尻湖にはナウマンゾウが息を吐いていました。1962年から続く野尻湖発掘によって、その場所は現在よりも寒い時代だったこと、ナウマンゾウを狩りした人類がいたかもしれないことがわかってきました。最近の発掘の成果も交え、氷河時代の野尻湖の様子をわかりやすく解説します。	小・中・高・一般	講義	
C9	教育学系	教授	廣内 大助	災害図上訓練DIGを体験しよう	災害が起こったとき、被災しないためには、災害発生時にどのような行動をとるべきか、普段からイメージしておくことが重要です。本講座では被災を想定した災害図上訓練(Disaster Imagination Game)を実施し、生活の中の様々なパターンで起こる災害時に、どのような準備が必要か、どのように行動すべきか、図上訓練を通じて考えていきます。(スクリーンと液晶プロジェクター、色鉛筆がカラーペンを数色準備いたします)※30-40人程度が適切です。多い場合はご相談下さい。	中、高、一般	講義+グループワーク	
C10	教育学系	教授	廣内 大助	水害はどこで起こるのか-地図からわかる低地の水害予測-	大規模台風やゲリラ豪雨など、水害は日本各地で毎年のように起こり、多くの家屋が浸水被害に見舞われます。ところが浸水被害はなぜ起こるのか? 海外ではどの様に備えているのか? 私たち個人や地域がどのように備える必要があるのか? など海外や国内事例を紹介しながら解説します(スクリーンと液晶プロジェクターをご用意いたします)受講者の目安は100名程度。大きく超える場合はご相談下さい。	高、一般	講義	
C11	教育学系	教授	廣内 大助	2014年長野県神城断層地震と長野県の活断層	2014年11月22日に発生した長野県北部の地震(長野県神城断層地震)(M6.7)は、糸魚川-静岡構造線北部の神城断層が活動した地震でした。この地震は、国の予測より一回り小さな地震でしたが、地表に明確なズレ(地表地震断層)が現れました。また活断層から発生する地震の様々な問題を考えるきっかけとなりました。2014年地震はどんな地震で何が起こったのか? 県内の活断層はどんなのか? を考えていきます。(スクリーンと液晶プロジェクターをご用意いたします)受講者の目安は100名程度。大きく超える場合はご相談下さい。	高、一般	講義	
C12	教育学系	教授	廣内 大助	活断層大地震に備える	地震を引き起こす活断層、身近な地域のどこにあるのでしょうか。また活断層地震でなにが起こるのでしょうか。また誰がどの様に備える必要があるのでしょうか。近年発生した活断層地震の被害や明らかになった問題点に触れて、現状対策はどうなのか? 海外ではどの様に備えているのか? 私たち個人や地域がどのように備える必要があるのか? など海外や国内事例を紹介しながら解説します(スクリーンと液晶プロジェクターをご用意いたします)受講者の目安は100名程度。大きく超える場合はご相談下さい。	高、一般	講義	
C13	教育学系	教授	廣内 大助	歴史から見る海溝型巨大地震とその被害予測～東日本大震災の教訓は生かせるか～	東日本大震災は記憶に新しいが、現在南海トラフでは巨大地震が想定され、国の試算では死者30万人の結果もあり、長野県でも被害を中心に大きな影響が予想される。海溝型巨大地震の311地震と津波はどの様なものか、想定される南海トラフ地震と被害予測、過去の地震履歴とその被害、内陸の活断層直下地震は誘発されるのか、長野県の影響は、私達が備えることなど、東日本大震災を学びながら、想定される巨大地震の被害予測とその対策について考えます(スクリーンと液晶プロジェクターをご用意いたします)受講者の目安は100名程度。大きく超える場合はご相談下さい。	高、一般	講義	
C14	教育学系	教授	三崎 隆	拡大鏡下に広がる世界	皆さんは岩石の薄片を知っていますか? 岩石をスライドガラスに貼り付けて、透き通る薄さまで削ったものです。透き通るほど薄くして観察することで岩塊のままでは気付かなかったものを発見できます。この講座では、花こう岩と安山岩の薄片を、偏光装置と呼ばれる装置の付いた拡大鏡を使って観察してみます。岩石はどのようなものからできているのでしょうか?一緒に観察してみましょう。	小、中	実習・実技あり	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
C15	理学部	特任教授	伊藤 建夫	遺伝子DNAは語る	遺伝の仕組みや遺伝子DNAについてまず説明し、およその理解をしてもらいます。遺伝子の安定性(子孫へ変わらず伝えられる)と可変性(進化の原動力)についてもふれます。遺伝的組換えの日常性と技術としての組み換えDNAについても理解を深めた上で、組み換え食品やクローンの問題について何が問題なのか、問題でないのか、考えるための基礎的な理解をはかります。	高、一般	講義	○
C16	理学系	准教授	齋藤 武士	地球のふしぎ-地球の模型をつくってみよう	私たちの惑星(ほし)地球はどんな形か、中身はどうなっているか知っていますか？地球の模型(地球儀)を作って、地球がどんな惑星か探ってみましょう。地球がどんな惑星か、どうしてそう考えられるようになったのか(地球科学入門)についても解説します。	小・中・高・一般	講義・実習	
C17	理学系	准教授	東城 幸治	水生生物の多様性と水環境	自然界では、さまざまな環境のもとに、さまざまな生きものが暮らしています。生物の分布は、それぞれの生物の環境適応性や、生物同士の相互関係などと深く関連するものですが、特に(1)水生生物とその棲み場となる水環境との関わりについて、(2)生態的特徴と分布、これらと深く関わる遺伝的多様性について、(3)水生外来種問題、等についてお話しします。	小、中、高、一般	講義(実習・実技ありでも可能)	
C18	理学系	教授	原山 智	大地震！その時あなたは大丈夫？	大きな地震のたびに地震対策の重要性がさげばれます。防災グッズが地震対策だと勘違いしていませんか？では、日頃から備えておくべき対策とは何でしょう。対策のポイントを中心に易しく解説したいと思います。※準備物品:液晶プロジェクター、スクリーン	一般	講義	
C19	理学系	教授	原山 智	地質探偵とさぐる北アルプスの生い立ちの謎	風林火山では山は不動の象徴です。しかし地球の歴史の中で、山は生成と消滅を繰り返してきました。北アルプスは230万年前に山脈へと成長を始めます。どうして、その時そこに山ができたのでしょうか。山岳踏査日誌1600日の成果をもとに、地質探偵ハラヤマが、山の成り立ちを探る旅にご案内します。※準備物品:液晶プロジェクター、スクリーン	一般	講義	
C20	理学部	特任教授	藤山 静雄	「ホタルも住めるよい自然」	ゲンジボタルは初夏の風物詩として親しまれています。かつてその生息地は激減しましたが、多くの人の努力により近年それが復活しています。ホタルの保護運動を見ると、ホタルがいかに多くの人に愛されていることがわかります。ヒトも動物なので、もっと動物らしく個性を発揮して生きたらどうでしょうか。人との動物の社会や生活を比較し、人の動物としての特徴について見ます。そしてそれを通して、人の社会を住みよくすること、生き方について考えを述べたいと思います。	小、中、高、一般	講義(必要な場合、現地見学会あり)	○
C21	理学部	特任教授	藤山 静雄	人にとって住みよい環境とは？～生物学的な視点から～	日本は経済的に恵まれ豊かですが、社会問題は大きい。わたしは動物の生活と環境との関係について研究してきましたが、ここから見るのと経済的に豊かで便利であることが必ずしも住みよいことではないことがわかります。ヒトも動物なので、もっと動物らしく個性を発揮して生きたらどうでしょうか。人との動物の社会や生活を比較し、人の動物としての特徴について見ます。そしてそれを通して、人の社会を住みよくすること、生き方について考えを述べたいと思います。	中、高、一般	講義(必要な場合、現地見学会あり)	○
C22	理学部	特任教授	藤山 静雄	面白い昆虫の話	生き物については、面白い話につきものです。昆虫についても、全くそのとおりで、昆虫が人に似ていない分、余計に面白い話があります。昆虫たちの面白い姿、生き方、おもしろいしぐさ、予想もしない不思議なこと、その知らない世界を楽しく語ります。これらに加え、虫たちのすむ自然が徐々に失われていく現状を説明し、虫たちを守っていくことの大切さについて理解を得たいと思います。	小、中、高、一般	講義(必要な場合、現地見学会あり)	○
C23	理学系	教授	保柳 康一	堆積物に残された洪水・津波の記録:地層から過去の災害を知る	千曲川沿いの堆積物には平安時代(西暦888年)の巨大洪水が記録されています。私たちの足下の地層には、河川近くでは洪水、海岸沿いでは津波がつくった堆積物が含まれ、歴史記録がない遠い過去まで遡ることが可能です。この講座では長野盆地の洪水堆積物と福島県南相馬市の津波堆積物を例にして、地層からその地域の過去の災害を知ることでどのように減災に結びつくかを考えてみたいと思います。	中・高・一般	講義	
C24	理学系	教授	森清 寿郎	核のゴミ(高レベル放射性廃棄物)の地層処分とはどのようなことか	原子力発電にも関わらず、核のゴミ(高レベル放射性廃棄物)が必ず発生します。日本では2000年成立の法律により、核のゴミを地下に埋め捨てる(地層処分)とされています。地層処分とはいったいどのようなことなのかを解説し、そのうえで、地震や火山活動のきわめて活発な日本でそれが可能かつ最良の方法なのかを、検討します。	中・高・一般	講義	
C25	医学部医学科	特任教授	高本 雅哉	身の回りの寄生虫	最近、日本ではあまり見かけられなくなった回虫などの寄生虫。ところが海外、特に熱帯地域では寄生虫感染症がTop10のほとんどを占めております。日本でもまだまだ寄生虫感染症は残っておりますので、それらの虫たちをご紹介します。実物を見たり、顕微鏡を覗いたり実習形式にも対応可能。テーマとしては他にも、「寄生虫でアレルギーが治るのか」、「ペットからうつる寄生虫」など…	小、中、高、一般	講義、実習・実技あり	○
C26	農学系	教授	大窪 久美子	植物の多様性と人との関係	世界的にも日本列島は植物相の多様性が高い地域の一つに挙げられますが、現在では絶滅が心配されている植物種も少なくありません。本講座では特に里地や里山等、人とのかかわりで成立してきた二次的自然をターゲットとする植物種や植生の現状や課題について、生物多様性保全の立場から解説します。また近年の在来植物に対する外来植物の侵入定着の問題についても解説します。	小、中、高、一般	講義	
C27	農学系	教授	鏡味 裕	バイオテクノロジーによる動物の臓器再生	最近、様々な組織、器官、臓器を形成し得るES細胞が目立っています。私たちは多能性細胞を分化制御し、個体や臓器の再生を試みています。これらについてわかりやすく説明します。	高、一般	講義	
C28	農学系	准教授	高木 優二	哺乳動物の生殖の不思議	精子や卵子は何か知っていますか？肉眼で見えるかと思いませんか？精子や卵子はいつ、どこで、どのように作られるか知っていますか？ゴリラの精巣とヒトの精巣、どちらが大きいと思いませんか？一日に作られる精子や卵子の数はどの位か知っていますか？ヒトを含め哺乳動物の生殖は不思議がいっぱいです。生殖について基本的なことから分かりやすく解説します。	小学生(5年以上)上、中、高、一般	講義	
C29	農学系	教授	平松 晋也	土砂災害を回避し、賢く生き残るための方法論序説	毎年、梅雨期や台風期になると全国各地で土砂災害が発生し、尊い人命や財産が失われています。この講座では、近年の土砂災害の事例を紹介し、崩壊や土石流がどのようにして発生するのかそのメカニズムを解説します。そして、崩壊や土石流の前兆現象を紹介し、たとえ土石流や崩壊が発生したとしても災害に巻き込まれることなく「賢く生き残る」ための方策を考えてみたいと思います。	一般	講義	
C30	農学系	教授	平松 晋也	森林の土砂災害抑制効果について考える	良好な森林が生育し、樹木の根系がしっかりと大地をつかみ豊かな森林土壌が形成された山地域では、豪雨に見舞われても崩壊や土石流が発生することはないのでしょうか？確かに森林は、多種多様な機能を有し、我々人間に多大な恵みを与えてくれています。でも、森林は万能で、限界知らずなのでしょうか。本講座では、森林の土砂災害抑制効果について、長所・短所の両側面から考えてみたいと思います。	中・高・一般	講義	
C31	農学系	教授	福田 正樹	きのこの遺伝学	きのこは生態系の中で重要な役割を担っている生物ですが、高校生物ではあまり説明されない不思議な生物です。本講座では、きのこの遺伝を深めていただくために、きのこの生活史、交配系、遺伝資源、系統進化などについてわかりやすく紹介します。	高	講義	
C32	農学系	教授	福田 正樹	きのこの科学	日本には数千種類のきのこが存在しており、食用や薬用として利用されています。また地球の生態系を維持する大切な役割も持っています。本講座では、きのこに関する知識をさらに深めていただくために、きのこの生活史や生態、栽培方法、機能性などについてわかりやすく紹介します。	高、一般	講義	
C33	繊維学系	教授	下坂 誠	暮らしを豊かにする微生物	微生物と人間の暮らしは深い関わり合いがあります。例えば、世界中の民族は、微生物の恵みである固有の酒を楽しんでいます。この関わり合いの歴史を見ながら、身近な話題である発酵食品のあれこれについてお話しします。また、微生物が医療、農業、環境浄化など多様な分野で利用されている様子を見たいと思います。さらに、自然界にはまだまだ未知の微生物が存在すること、それを探索する微生物ハンターについても紹介します。	高、一般	講義	
C34	繊維学系	教授	平林 公男	ホタルの都合・ヒトの都合～ホタルの話し～	ホタルの立場に立つて、ホタルの都合を考えてみましょう。いま、各地でくりひろげられている「ホタルの復活」に対する活動は、ヒトの都合だけで動いている場合が多くないでしょうか？	小、中、高、一般	講義	
C35	繊維学系	教授	平林 公男	応用生態学への招待	千曲川は日本でいちばん長い河川です。千曲川の生物について少し考えてみましょう。	小、中、高、一般	講義	
C36	繊維学系	教授	森川 英明	蚕の繭づくりからシルクまで	シルクは蚕がつくりだす美しい繊維です。このシルクの原料となる繭糸の特徴や蚕の繭づくりのプロセスについてお話しします。	小、中	講義+実習	

【D 環境】地球温暖化・環境汚染・環境教育・自然エネルギー・エネルギー資源・気象

D1	総合人間科学系	教授	矢部 正之	基礎から分かる放射能・放射線	なんとなく取っつきにくく分りにくいと思われていた「放射能」「放射線」ですが、3・11以降、身近で深刻な問題になりました。単に恐れるのではなく、単に樂觀するのではなく、科学的に基礎から理解できるよう解説します。	中、高、一般	講義	
D2	教育学系	准教授	井田 秀行	身近な自然かんさつ	近所の森や里山を散策し、主に植物を観察します。フィールドワークを通じて、生き物の生態をはじめ、植物と人の関わりや歴史・文化などを総合的に理解します。地域の自然環境の現状や成り立ちを考えることで、身近な自然を再認識します。20名以下の講座を想定しています、それを超える場合はご相談になります。	小・中・高・一般	野外活動	
D3	教育学系	教授	佐藤 運海	地球環境と金属材料	金属材料は酸性雨などに腐食されています。その腐食メカニズム、防食方法などについて、実験データを用いて説明いたします。	小、中、高、一般	講義	
D4	教育学系	准教授	友川 幸	アジアとアフリカの食と健康-心と体の健康は健全な食生活から-	開発途上国の食と健康の問題について、現地での滞在経験をもとにお話しします。開発途上国における栄養失調や肥満の問題などから食と健康の密接な関係を知り、人々の食生活が健康に与える影響について考えます。また、アジアやアフリカの食文化について学ぶと同時に、日本の食文化についても考えていきます。	小、中、高、一般	要相談	
D5	教育学部	特任教授	渡辺 隆一	環境を考え、行動するために	環境問題は21世紀の大きな課題です。「環境とは何か」という基本を振り返り、具体的に問題解決のために参加、行動するとはどういうことなのかを、参加型学習によって学びます。	小・中・高・一般	講義	○
D6	理学系	教授	鈴木 啓助	雪が織りなす物語	雪は真っ白でとても綺麗です。「雪は天から送られた手紙である」と言われるように、降ってくる雪には大気中の様々な情報が含まれています。地上に降り積もっている間にも様々なことがあります。雪が織りなす物語を読み解いていきましょう。	小、中、高、一般	講義	
D7	理学系	教授	鈴木 啓助	信州の気候と地球温暖化	わが国の真ん中に位置する信州は、内陸県ながら南北に長く広がっています。そのため、日本海側地方の気候を示す地域と太平洋側地方の気候を示す地域があります。また、高い山と深い谷が独特の気候を作りだし、さらに山岳域を有するたため雪の量も極めて多くなっています。これらの信州の気候と地球温暖化との関連を話します。	小、中、高、一般	講義	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
D8	理学系	教授	鈴木 啓助	南極の自然	地球上で手付かずの自然は南極大陸のみです。低温や強風などの厳しい自然環境下にはありますが、見渡す限りの真っ白な雪原やどこまでも深い青空には崇高な美しさがあります。未来の地球を探る試みが、南極の地でいろいろな分野の研究者によってなされています。美しくも厳しい自然とそこで繰り広げられる最新の研究について紹介します。小中学生には南極の水を体感してもらいます。	小、中、高、一般	講義	
D9	理学系	教授	朴 虎東	湖沼におけるアオコの発生機構と制御方法	湖沼に発生するアオコの発生機構とアオコに含まれているアオコ毒素の水生生態系における動態を解説します。またアオコの発生の防止・制御に関する最近の研究例を紹介します。	高、一般	講義	
D10	理学系	教授	保柳 康一	化石エネルギー資源の枯渇と地球環境	石油の消費による二酸化炭素量の増加が地球温暖化を招いているとされています。この講座では化石エネルギー資源の成り立ちを分かりやすく説明し、これらの資源が有限でいずれなくなる可能性が高いこととお話します。また、その利用が地球環境に与える影響について考えてみます。時間がある場合は、次世代資源として注目されているメタンハイドレートについてもふれたいと思います。	高、一般	講義	
D11	理学部	特任教授	吉野 和夫	やさしい放射性物質の話	福島汚染地域では、原発で作りだされた放射性物質が残っているため、未だに帰還できない人が数多くいます。原発の廃炉には高レベル放射性廃棄物の問題があります。いずれも長い年月放射線を出し続ける放射性物質が原因です。特に高レベル放射性物質の場合、次の世代ばかりでなく、人類の存続というスケールで考える必要があります。その意味で、科学の問題ですが、倫理的側面があります。	高・一般	講義	○
D12	医学部医学科	特任教授	高本 雅哉	環境ホルモン	近年、ヒトのみならず生物の内分泌系に微量で作用し、その生殖能力に影響を及ぼす化合物による環境汚染が注目を集めています。これら内分泌攪乱物質は環境ホルモンと呼ばれており、代表的なものにダイオキシンやビスフェノールAがあります。環境ホルモンとは何か、人や野生生物にどのような影響があるのか、どのような対策がとられているかなどについてわかりやすくお話ししたいと思います。	小、中、高、一般	講義	○
D13	医学系	教授	野見山 哲生	地球温暖化と健康	地球温暖化とは何か、又、地球温暖化の及ぼす人への健康影響は何か、次世代を担う学童・生徒(小・中・高校生)に以上を理解いただき、我々がそれに対してどのように取り組んでいくことができるかを概説します。	小、中、高	講義	
D14	工学部	特任教授	池田 敏彦	エコ水車の開発と普及	日本におけるエネルギー事情について述べるとともに、小水力発電に関する概要を解説します。次に、河川工事をほとんど必要とせず、身近な小川や農業用水路に置くだけで発電する小型水車(エコ水車)の開発と普及について講義します。現在、長野県など6県13ヶ所で実用化されている実例を紹介します。また、開発の意義や効果について説明します。	小、中、高、一般	講義	
D15	工学系	教授	高木 直樹	地球温暖化問題とその対策	地球温暖化問題は現在では地球に住む私たちにとって最大の問題となっています。この問題の現状を解説するとともに、日本の対策、世界の対策について解説します。	一般	講義	
D16	工学系	教授	高木 直樹	長野県の地球温暖化対策	地球温暖化問題は現在では地球に住む私たちにとって最大の問題となっています。この問題の現状を解説するとともに、長野県の対策を紹介し、私たちが生活の中で行うべき対策について解説します。	一般	講義	
D17	工学系	教授	中村 正行	風車(ふうしゃ)を作って環境問題を学ぼう	紙や竹ひごを使っていろいろな種類の風車(ふうしゃ)を作ります。工作をしながら風のエネルギーを利用する機械の仕組みを学び発電を体験します。小中学生が対象ですが、親子参加や一般向けとして開催も可能です。1回2時間程度で、補助をしていただけの人がいれば一度に100名くらいまで可能です。道具と材料はこちらで準備します。※申込機間は、材料費実費として1人100円程度ご用意ください。	小、中、親子、一般	実習・実技あり	
D18	農学系	准教授	上原 三知	英国BTCVIに学ぶ身近な自然環境の保全・活用とその効果	人との関わりが不可欠な二次自然である里地・里山における環境保全活動の環境学習効果やそのリラクゼーション効果を紹介いたします。英国(イギリス)の環境保全型グリーンツーリズムや、環境カウンセラー(環境省の人材登録制度)として関わった街づくり、知的障害者と環境保全の実践事例と研究成果をまじえた講座です。※パワーポイント(PC)を使用するので、プロジェクターを御準備ください。	高、一般	講義	
D19	農学系	准教授	安江 恒	地球温暖化問題と森林・木材の役割	地球温暖化問題に直面する中で、「森林は手を付けずに保護するもの」との観念に縛られていませんか？森林や木材利用の持つ様々な効果の解説を通して、今後の森林の管理や林業のあり方について考えます。	中・高・一般	講義	
D20	繊維学系	教授	杉本 渉	我が家にも燃料電池がやってくる？燃料電池の今とこれから。	地球規模のエネルギーと環境問題に貢献すると期待されている燃料電池ですが、私達がその恩恵を受けるのはいつでしょう？燃料電池開発の一端を担っている研究者が燃料電池の利点をわかりやすく解説します。現状の普及状況や今後の計画を含めて科学や環境に少しでも興味がある方向けの講座です。いったい、いくらの？危くないの？などなど素朴な疑問にもお答えします。	高、一般	講義	
D21	繊維学系	教授	杉本 渉	暮らしを豊かにする電池の話。今とこれから。	電池はコンビニでも買えるハイテク・ナノテク製品です。暮らしを豊かにするだけでなく、環境問題の解決にも役立つ電池開発は益々重要性を増しています。昔ながらの乾電池から最近のハイブリッド車向け電池までわかりやすく解説します。たくさんあってどれを買えばいいのかわからない！捨てるときはどうすれば良いの？乾電池は充電しちゃいけないの？などなど素朴な疑問にもお答えします。	高、一般	講義	
D22	繊維学系	教授	平林 公男	湖沼における特定生物大発生時のメカニズムとその対策	湖沼生態系は閉ざされた生態系としてとらえられ、地球上で物質が循環するように、水中で生産、消費、分解という過程を通して、物が循環しています。このバランスが崩れると、特定の生物が大発生するなどの様々な問題が生じてきます。長野県内の湖沼を例にそのメカニズムについて考えます。	小、中、高、一般	講義	
D23	繊維学系	教授	平林 公男	河川生態系と河川の攪乱	河川水中では常に一方の方向の水流があり、物理的な物質の流れも基本的には一方です。河川に生息する生物群集は、こうした環境にうまく生活様式を適応させて進化してきています。河川では洪水のような自然の攪乱や、河川工事などの人為的な攪乱が頻りに起き、生物群集の死滅、回復が常に繰り返されています。河川生態系について理解を深めます。	小、中、高、一般	講義	
D24	繊維学系	教授	村上 泰	日焼けは危険～化粧品から地球環境問題まで～	身近な化粧品の話から始まり、オゾン層破壊という地球環境問題をわかりやすく説明します。紫外線の肌への影響、日焼け止め化粧品、オゾン層破壊による紫外線の増加、オゾン層破壊の原因であるフロンという物質、フロン代替物による地球温暖化、京都議定書と話を展開していきます。わかりやすく興味のもてる環境問題の話です。	高、一般	講義	
[E 土木・建築]土木・建造物・建築・庭園(公共)								
E1	工学系	教授	梅崎 健夫	土と地盤のおはなし	建物や社会基盤施設を支える「地盤」とは何か、地盤を構成する「土」とその性質について説明します。地盤調査の最新技術や「地すべり」「液状化」「地盤沈下」のメカニズムとその対策についてもわかりやすく話します。	高、一般	講義	
E2	工学系	教授	清水 茂	風景の中の橋の話	橋は土木建築物の中でも目立つ存在です。道路や鉄道としての機能を活かしながら、かつ、地震などに対して安全性を確保しながら、見た目美しい橋をどのようにして作るか、そもそも美しい橋とはどういったものかを考えます。	高、一般	講義	
E3	工学系	教授	清水 茂	なぜ橋は壊れたか～大地震に学ぶ～ 鉄の橋を例に	主として阪神淡路大震災で被災した橋の写真を見ながら、地震で橋が壊れる原因を探り、また、橋の耐震設計についての最新の考え方を、一部、建物の耐震設計と比較しながら説明します。橋や地震の専門的な知識のない方向け、多少の知識のある方向けなど、話のレベルは相談に応じます。	高、一般	講義	
E4	工学系	助教	曹 西	土木工学の視点から日常の安全を守る	2007年8月にアメリカで、死者13名負傷者145名に上る橋梁の崩落事故が発生しました。橋梁、道路、トンネル等の土木構造物は日常生活の中で人々に広く利用されています。老朽化や設計ミス、施工不良等により、又使用環境の影響で、安全性を失うことがあります。土木工学の視点から、如何に潜んでいる危険性の兆候を早く掴み、事故を未然に防ぎ、身の安全を守るかについてお話します。	中・高・一般	講義	
E5	工学系	助教	曹 西	日米欧の橋梁維持管理について	日本は高齢化社会を迎えています。公共財である橋梁も高齢化になってきています。2022年には、長野県の橋梁の50%以上は50歳以上の高齢化橋梁になります。人間は長生きする為に健康管理が非常に重要であると同じように、橋梁の維持管理が橋梁の寿命を左右します。日米欧の橋梁維持管理の歴史・現状について、お話します。	中・高・一般	講義	
E6	工学系	教授	高木 直樹	住宅の省エネ化で健康で快適な住まいと省エネルギーを両立させる	私たちが暮らしている住宅は、健康で快適な生活を基本から支えてくれています。冬寒く、ヒートショックが問題になる住宅は、健康へのダメージにつながりかねません。これからの住宅はどうなっていくのかについて、快適性・健康・省エネルギーの視点から考えます。	一般	講義	
E7	工学系	准教授	松本 明人	都市と水の環境をまもる～上下水道システム発達史の歴史～	都市にすむ人々の健康や水環境をまもるために、人類はどのような技術を作り出してきたのかを、上下水道発達の歴史をお話して紹介します。さらに今後、重要性が増すと見込まれる排水からの資源回収やより高度な水処理技術についても、お話しします。なお講義では液晶プロジェクターを使用します。	高・一般	講義	
E8	農学系	准教授	上原 三知	1974年から継続するエコビレッジ英国CATに学ぶエコロジカルな環境デザイン	英国の農村部の廃墟跡地に作られ年間10万人が視察に訪れる英国CAT(The centre of alternative technology)の紹介。1974年から蓄積されたエコロジカルな地域計画、建築計画、森林管理のノウハウを日本の環境デザインに応用する上での留意点を具体的な事例紹介を通じて紹介する。	高、一般	講義	
E9	農学系	教授	佐々木 邦博	城下町に残された緑と水と庭園、その現代的役割	江戸時代に発達した城下町において、庭園はどこにどれくらいつくられたのか、江戸時代に書かれた(出版された)造庭書とともに説明します。そして、水の役割、現代における役割も説明します。事例地として、松代を取り上げます。	高、一般	講義	
[F 生活・食物]衣料・住居・ガーデニング(個人庭園)・食物・食生活・消費者								
F1	教育学系	教授	三野 たまき	アパレルと健康	生まれてから衣服に身を包んで生活している我々にとって、「衣」は「食」や「住」と同様に、生きるために必要な手段です。衣服はその人の個性を表す重要な手段ともなりえますが、自分がとてま気に入った衣服であっても、それが健康を害するものであったとしたら、どうすべきでしょうか。衣服の健康的な着方、選び方を科学的根拠に基づき、簡単にお話します。	一般	講義	
F2	農学系	准教授	片山 茂	花粉症と食物アレルギー	花粉症は今や、わが国の国民病とまで云われるようになってきました。また、食物アレルギーに悩まされている人も急激に増えました。花粉症や食物アレルギーの人はこれからも増え続けることが予想されます。この講座ではみなさんと一緒に花粉症や食物アレルギーと食生活との関係について考えてみたいと思います。※液晶プロジェクターとスクリーンの用意をお願いします。	高、一般	講義	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
F3	農学系	教授	福田 正樹	きのこ健康	きのこ人間の関わりや、きのこの機能性を紹介し、きのこ食が我々の健康維持にいかにか大切かを話します。	高、一般	講義	
F4	農学系	教授	藤田 智之	食品成分の活用ー自然の恵みを利用する巧みの技ー	食品には栄養成分だけでなく、さまざまな成分が含まれています。自然が作り出したこれらの成分(天然物)を私たちは生活の中で上手に利用しています。健康機能を中心に、身のまわりで活躍する食品成分を紹介し、また、新しい機能や有効成分の探索法についても解説します。	高、一般	講義	
【G 農林業】農業・林業・農林業技術								
G1	総合人間科学系	准教授	今津 道夫	植物の病気	農作物や森林の病気はしばしば大発生し、ときに私たちの生活に大きな影響を及ぼします。こうした植物の病気の原因となる微生物や病気の発生生態について、身近な植物病害の例をとりあげて解説します。	一般	講義	
G2	農学系	助教	内川 義行	農村の地域資源活用 ー棚田の保全と整備ー	農山村の多くは、農地の耕作放棄や林地の手入れ不足が増大と、人口減少や高齢化による地域社会の担い手喪失が悪循環構造となり、存続の危機にさらされています。こうした中、地域資源を活用した活性化策が求められています。棚田を中心とした地域資源の保全や整備およびその活用手法を紹介するとともにその考え方を解説します。	小、中、高、一般	講義	
G3	農学系	教授	鏡味 裕	バイオテクノロジーによる動物の改良	バイオテクノロジーは食料生産にとって必須な技術となっています。このテクノロジーによる動物の改良についてわかりやすく説明します。	一般	講義	
G4	農学系	教授	鏡味 裕	動物バイオテクノロジーの食料生産への応用	幹細胞の分化制御による新規有用動物の創出と食料生産への応用について概説します。	高	講義	
G5	農学系	教授	春日 重光	ソルガム(もろこし)の栽培と利用	植物名ソルガム、和名を「もろこし」あるいは「たかきび」と呼ばれるこの植物は、古くから食料として利用される一方、近年では飼料用、緑肥用、バイオマス原料などその多用途利用が進められています。このソルガムの栽培と利用、あるいは育種について、その「おもしろさ」について解説します。	高、一般	講義	
G6	農学系	教授	小嶋 政信	光を活用する農業技術開発への取組	電化製品や自動車に代表される日本製工業製品の世界的評価と比較すると、日本農業の衰退は著しく、食料自給率は40%を割って、先進国では最も低い状況となっています。最近、露地栽培を中心とした従来型の農業に代わって、高度に環境制御した施設内栽培(植物工場)に注目が集まっています。発光ダイオード(LED)等の人工光源を利用する野菜・きのこ栽培の現状と課題を解説します。 (液晶プロジェクター・ポインター・スピーカー・スクリーン・マイクロホン等の設備が必要です)	中・高、一般	講義	
G7	農学系	准教授	小林 元	地球温暖化と森林の二酸化炭素吸収	地球温暖化と森林の二酸化炭素吸収のメカニズムについて、わかりやすく説明します。地球温暖化防止に果たす林業の役割について、長野県の取り組みを例に挙げて具体的に解説します。	中、高、一般	講義	
G8	農学系	准教授	斎藤 勝晴	植物と微生物の共生	植物の根には共生微生物が住んでいます。根粒菌や菌根菌と呼ばれる共生微生物は植物の根に住みつき植物の養分吸収を手助けしており、一方で微生物は植物から糖分をもらい両者はお互いに利益を得ています。最近になり、この共生関係は共生遺伝子により厳密に制御されていることが分かってきました。この講座では植物と微生物の共生の仕組みを最新の話題も含め話します。	一般	講義	
G9	農学系	准教授	竹田 謙一	牛の快適性を追求したアニマルウェルフェア畜産の実践	酪農現場では、カウコンフォートという言葉が聞かれるようになりました。ウシの快適性を重視した飼育方法を意味しますが、世界的には、アニマルウェルフェア(家畜福祉とも言われる)思想の下、法整備や畜産物の付加価値化が進んでいます。快適性を追求したアニマルウェルフェア畜産は、生産コストが上昇するのでは？と心配される声も聞かれますが、ちよつとした工夫で実践することが可能です。本講座では、アニマルウェルフェア(コンフォート)畜産の概要を平易に説明し、誰でも、簡単に実践できる飼育環境の改善について解説します。	高、一般	講義	
G10	農学系	准教授	竹田 謙一	野生動物と人間との共存	全国で野生動物が引き起こす様々な出来事が社会問題になっています。そこで、野生動物(サル、シカ、イノシシなど)行動特徴について、写真などを示しながら、問題解決に向けた方策や野生動物との付き合い方を解説します。	中、高	講義	
G11	農学系	教授	濱野 光市	動物の精子と受精	精子は自ら運動する特殊な細胞です。精子が卵子と受精することで、生命が誕生します。ウシ、マウスの精子が雌の体内で受精能を獲得するメカニズムを調べています。精子の生存性、形態が正常でも妊娠できないことがあります。精子の移動能や染色性の違いなどを検査することで雌の受精性を予測できないか調べています。	中、高、一般	講義	
G12	農学系	准教授	松島 憲一	トウガラシの科学	中南米起源のトウガラシは独特の辛味から世界各地で利用されており、地域によっては個々の民族を特徴づける香辛料にもなっています。あまり辛いものを食べない日本においても七味唐辛子のように根強くその食文化に定着しています。また、トウガラシと言えば辛く赤いのが特徴ですが、その辛味や赤い色には優れた機能性があると言われています。本講座ではトウガラシの食文化とその科学について迫ります。	小、中、高、一般	基本講義(相談に応じます)	
G13	農学系	助教	三木 敦朗	地域から日本の森林・林業を考える	いま森林・林業は、グローバルな社会経済の激動の中にあります。どうすれば、森林を保全した持続可能な社会がつかれるでしょうか。地域の森林・林業を題材に考える講義です。	中・高、一般	講義	
G14	農学系	准教授	山田 明義	マツタケの人工栽培	マツタケ人工栽培に関する研究の歴史、現状と今後の展望について話します。	一般	講義	
G15	農学系	准教授	山田 明義	きのこの生態	きのこの自然界での役割、生物学的な位置づけを話します。	小、中、高、一般	講義	
G16	繊維学系	教授	林田 信明	GMO(遺伝子組み換え生物)の栄光と墜落ー育種技術の未来ー	とくく議論をかもし遺伝子組み換え農作物ですが、いったい何が問題でこれほど賛否が分かれるのか、本当に悪者なのか救世主なのか、それとも本当は大騒ぎをする価値がないのか、視点を交えながら解説します。	中、高、一般	講義	
【H 医療・福祉】医療・福祉・公衆衛生								
H1	総合人間科学系	教授	矢部 正之	現代医療の基礎知識(核物理編)	様々な物理的現象に原子核物理と医療の最前線の関連から、医療の消費者(利用者)として必要な基礎知識を解説します。	中、高、一般	講義	
H2	教育学系	准教授	友川 幸	持続可能な開発のために今、できること-エコヘルス教育のすすめ-	開発途上国の健康、環境問題について、現地での滞在経験をもとにお話します。急速な都市化、近代化が進む開発途上国における環境と健康の密接な関係を知り、人々の健康観、環境観に触れながら、環境の変化が人々の生活様式や健康に与える影響について考えます。また、日本で生活する自分たちが未来の健康と環境の保持増進のために、今、できることを考えていきます。	小、中、高、一般	要相談	
H3	理学部	特任教授	吉野 和夫	ホウ素中性子捕捉療法ー核分裂エネルギーでガンをおさすー	体にメスをいれない放射線療法は、患者さんの負担が少ない治療方法として定着しています。ウランの核分裂エネルギーは原子力発電に使われますが、ホウ素の核分裂エネルギーをガンの治療に使うホウ素中性子捕捉療法は究極の放射線療法です。ぜひ皆さんに知ってもらいたいため、徹底解説します。	中・高、一般	講義	○
H4	保健学系	教授	石田 文宏	血液検査ってなにをするの？	血液検査は学校や職場での検診や医療機関での最初の検査として、しばしば行われています。さまざまな検査内容があり、どのような検査なのか、結果をどのように考えるか、困ることもしばしばです。本講座では、血液検査の基本から、意義や限界、応用例も含め、解説します。副題：いまさらきけない血液検査のきほん	高、一般	講義	
H5	医学系	教授	石塚 修	夜間頻尿と不眠	眠れないのでトイレにおきるのか？ トイレにおきるために眠れないのか？ 最近の知見について概説します。	一般	講義	
H6	医学系	教授	石塚 修	前立腺の話	最近注目されている前立腺疾患について、わかりやすく概説します。	一般	講義	
H7	保健学系	教授	奥野 ひろみ	健康づくりと地域づくり	私たちの健康は個人や家族が努力することで得られるとともに、地域住民との関係も重要な要因となっています。地域住民の連携はどうあったらよいのかを考えます。	中、高、一般	講義、グループワーク	
H8	保健学系	教授	奥野 ひろみ	考えよう開発途上国の健康	開発途上国の健康問題をとりあげ、私たちがどのように協力をすればよいかを考えます。	中、高、一般	講義、グループワーク	
H9	保健学系	教授	奥村 伸生	血液検査と健康管理	病院等で診察・診療の一環として血液を採って行われる種々の検査(臨床検査)の内容と、その病気との関係、さらには健康診断の一環として行われる検査について、検査を受ける側の注意点と問題点をスライドを使って解説します。※準備物品：プロジェクターとコンピューター	高、一般	講義	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
H10	保健学系	教授	奥村 伸生	尿検査と健康管理	病院等で診察・診療の一環として尿を採って行われる種々の検査(臨床検査)の内容と、その病気との関係、さらには健康診断の一環として行われる検査について、検査を受ける側の注意点と問題点をスライドを使って解説します。※準備物品: プロジェクターとコンピューター	高、一般	講義	
H11	保健学系	教授	奥村 伸生	臨床検査と臨床検査技師の仕事	病院等で診察・診療の一環として、あるいは健康診断の一環として、血液や尿を採って行われる種々の検査と、心電図検査など、いわゆる臨床検査技師が行うことのできる臨床検査の内容や研究内容をスライドを使って解説します。※準備物品: プロジェクターとコンピューター	高	講義	
H12	医学系	教授	加藤 博之	メタボからロコモへ 一健康寿命を伸ばすために	新・国民病「ロコモティブシンドローム(ロコモ)」とは骨、関節、筋、神経などの運動器の障害のために、要介護になっていたり、要介護になる危険度の高い状態です。ロコモを予防して健康寿命を延ばすことは重要な課題です。長野県の健康寿命は男性71歳(第6位)、女性74歳(第17位)です。ロコモの症状と予防法をビデオを使って説明いたします。	一般	講義、ビデオ	
H13	保健学系	教授	金井 誠	性感染症と望まない妊娠	近年、10代の性感染症の増加は大きな問題で高校生の1割が性感染症であったという報告があります。10代の人工妊娠中絶も20年前と比べて約2倍の頻度です。このことは、本人の健康管理のみならず、少子化が社会問題となっている状況で、将来不妊症になる心配も大きいのです。生徒、保護者、教員などに、正しい性に関する知識を専門家の立場からわかりやすくお話しします。	中(3年生)、高、一般	講義	
H14	医学部保健学科	特任教授	川上 由行	慢性胃炎、胃潰瘍、胃癌の元凶「ピロリ菌」とは?	これまで感染とは全く無縁だった慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍や胃癌ですが、ピロリ菌感染との関連で一大ブームになり、2013年からはピロリ菌除菌療法が保険診療で行われるようになりました。このピロリ菌は、ノーベル賞受賞者のウォーレン博士とマーシャル博士によって新発見されたのですが、一体どんな菌なのでしょう? あつと驚く、ピロリ菌の生態についてお話ししてみよう。	高、一般	講義	○
H15	医学系	教授	栗田 浩	口腔乾燥症(くちの乾きについて)	「くちの中が乾く」、「したがりヒリヒリする」などお困りではありませんか? 口の乾き(口腔乾燥症)についてお話しします。	一般	講義	
H16	医学系	教授	栗田 浩	咀嚼と健康	咀嚼(そしゃく)とは摂取した食物を歯で噛み、粉砕することです。これにより消化を助け、栄養をとることが出来ます。咀嚼は単に栄養を取るためだけでなく、全身の健康に必要であることがわかってきました。よく噛むことにより、脳の働きを高めたり、がんや糖尿病などを予防する効果があることがわかっています。	一般	講義	
H17	医学系	教授	田中 榮司	ウイルス肝炎はこわくない	ウイルス肝炎の病態と治療について説明します。また生活指導についてもお話しできます。だれにでもできるウイルス肝炎の予防法についてもわかりやすく説明します。	一般	講義	
H18	医学系	准教授	田中 直樹	本当はこわい脂肪肝	脂肪肝なんて悪くならない、たいたことないと思いませんか? 最近、脂肪肝の中にも肝硬変に進行するものがあることがわかってきました。脂肪肝についてわかってきたこと、ふだんの生活で気をつけること、ちょっと変わった脂肪肝について、解説させていただきます。また中高生の脂肪肝と生活習慣の関連についてもお話しします。	中・高、一般	講義	
H19	医学系	准教授	田中 直樹	アルコールと肝臓病	お酒は体にいいのでしょうか? どのくらいで止めておくのがいいのでしょうか? アルコール性肝障害の発症機構や予防法をわかりやすくお話しします。	一般	講義	
H20	医学系	准教授	田中 直樹	脂肪肝・糖尿病・肝がんの怖い関係	肝炎ウイルスに関連しない肝がんが増えてきています。その背景が、脂肪肝や糖尿病ではないかと言われている。脂肪肝・糖尿病と肝がんの関係について、わかりやすくお話しします。	中・高、一般	講義	
H21	医学系	准教授	田中 直樹	メタボリックシンドローム・メタボ健診のデータの読み方	特定健康診査・特定保健指導(メタボ健診)では高血圧・糖尿病の背景となるメタボリックシンドロームの拾い上げを目的としています。内臓肥満やメタボリックシンドロームの考え方、健診結果の解釈のしかたについてお話しします。	一般	講義	
H22	医学系	講師	塚原 照臣	こころの健康	産業医としての働く人の健康相談の経験や公衆衛生学におけるこころの健康に関する調査結果から、現代社会におけるこころの健康については様々な課題があることが分かります。社会に飛び立つ世代のみならず、自分のこころの健康のあり方についてどのように向き合い、自分を、そして他人を大切に生きていくことが出来るか、メッセージをお伝えしたいと思います。	高校・一般	講義	
H23	医学部医学科	准教授	中澤 勇一	地域医療における問題点	「医療はすべからず地域医療である」との言葉があります。すなわち、医療には、病気を診るだけでなく、住んでいる地域・家庭への視点が必要で、地域医療における問題点は、医療における問題点そのものです。近年問題となっている医療費、医療崩壊、医師不足の現状、ならびにそれらの解決策について解説します。	中・高、一般	講義	
H24	医学系	教授	花岡 正幸	喫煙を考える	タバコの煙には4,000種類以上の化学物質が含まれ、喫煙者のみならず吸わない方の健康まで障害します。禁煙が成功しないのはタバコ煙に含まれる「ニコチン」に依存性があるためで、喫煙習慣は一つの病気として捉えられるようになり、本講座では、タバコにまつわるさまざまな問題をクローズアップします。また、禁煙のメリットや上手なタバコの止め方をお話しします。	小、中、高、一般	講義	
H25	医学系	准教授	林 琢磨	がんの発症と免疫の関係	がんの発症は、生活環境、食生活、年齢など様々な事が起因として起こります。がんは、免疫力が低下することでその発症率は著しく高くなります。生活環境、食生活、年齢と免疫力との関係性、さらにはがんの発症との関連性についてわかりやすく解説します。	小、中、高、一般	講義	
H26	医学系	准教授	林 琢磨	ウイルス感染と免疫	冬になると、風邪をひきやすくなり、インフルエンザも流行します。風邪もインフルエンザもウイルス感染が原因です。ウイルス感染に負けない体力作りが重要となり、免疫力の増強が必要になります。ウイルス感染から体を守る免疫力についてわかりやすく解説します。	小、中、高、一般	講義	
H27	保健学系	准教授	日高 宏哉	生活習慣病の改善と予防(成人向け、青少年向け)	私たちの生活習慣や食生活では、コンピュータ、携帯電話、ファストフードやコンビニエンスストアなどのない生活は考えられません。そのような環境の中で、知らぬ間に生活習慣病に落ちている可能性があります。健康であるため、または健康な生活を送るための正しい生活習慣や食生活の知識と行動、そして血液検査値の評価が肝要です。家族や社会全体での取り組みについて解説します。	中・高、一般	講義	
H28	保健学系	教授	藤本 圭作	喘息って、どんな病気? 治るの?	喘息は成人で3%、小児で5~6%と言われますが、実際にはもっと多く、近年増加の一途を辿っています。今は早期に適切な治療、特に吸入ステロイドを中心とした治療を継続することで、全く症状がない普通の生活を送ることが出来ます。また、咳のみが主症状の咳喘息も多く、咳で困っている人も多いと思います。喘息についてお話ししたいと思います。	一般	講義	
H29	保健学系	教授	藤本 圭作	あと10年後には死亡原因の第3~4位になる言われている慢性閉塞性肺疾患ってどんな病気?	慢性閉塞性肺疾患(COPD)と言うと、聞きなれない言葉ですが、肺気腫や慢性気管支炎と言えば、聞いたことがあると思われる方が多いと思います。今はCOPDという名称に世界的に統一されましたが、肺気腫、慢性気管支炎と同様です。日本の場合には、ほとんどがタバコが原因です。だけど、タバコを吸うヒトが皆COPDになるわけではなく、体質が関係しています。最近、痰や咳が多いとか階段や坂道を登ると息が切れる方は是非とも聞いていただきたいです。	一般	講義	
H30	保健学系	教授	藤本 圭作	眠っている時に呼吸が止まっていると言われたことはないですか?	眠っている時に呼吸が止まったり、弱くなることによって、熟睡が出来ず、昼間眠くなってしまったり、この睡眠時無呼吸症候群は実はこわい病気、重症になると心筋梗塞や脳血管障害、不整脈を引き起こし、死亡してしまうことのある病気です。他にも、高血圧、糖尿病、生活習慣病とも密接に関係しており、メタボとも関係があります。鼻マスク持続陽圧呼吸療法やマウスピースによって治療可能です。また、最近、子供で扁桃腺肥大やアデノイドが原因で生じることがあり、学校の成績にも影響すると言われています。	一般	講義	
H31	医学系	教授	本郷 一博	脳卒中と認知症	脳卒中の概要を説明します(その症状、診断および治療について)。さらに予防について説明します。特に社会生活において重要な認知症(ボケ)の予防についてふれます。	一般	講義	
H32	医学系	教授	本田 孝行	禁煙の勧め	喫煙の怖さを医学的な面を中心に説明し、どのように禁煙を行えばよいかを解説します。※出講日は木曜・金曜を希望します。	中、高、一般	講義	
H33	医学系	教授	本田 孝行	健康診断の血液検査の読み方	健康診断で行っている血液検査項目について、どのような意味があるのかを解説します。※出講日は木曜・金曜を希望します。	高、一般	講義	
H34	保健学系	講師	山崎明美	“性の健康”と生きていく力	“性の健康”とは、性の指向や行為、生殖器を含む心身の健康、医療に関する社会資源の活用、パートナーとの心地よい人間関係のための交渉スキルやコミュニケーション、キャリアプランやライフプラン、性被害予防と対処を含みます。27年度からは、「パートナーとの心地よいコミュニケーションとココロのトリセツ」、「心身の健康と性の行為とのつきあい方」に關係する内容をご提供します。	中・高	ワークショップ形式	
H35	保健学系	講師	山崎明美	大人の女性の健康教室 一自分のからだを心地よく、からだのしくみと年齢変化への対策	健康を考えることは、生き方を考えることです。なぜなら、健康や生死は、周りの人との関わりの中にあるものだから。ホルモンの変化にさらされる女性のからだのメンテナンスの方法とその視点一特に女性特有の器官を中心とした講座です。単に即効性があるやり方や病気の予防の知識を学ぶのではなく、自分の健康のためになにを選び、なにを選ばないのか、を考える、意外と大人になって学ぶ機会が多くない内容です。20代~50代の各世代に合わせてます(応相談)。	一般、PTA、研修、少人数での集まりなどまずはご相談ください。	講義形式およびワークショップ(応相談)	
H36	保健学系	講師	山崎明美	”性の健康”を伝える学習企画	生徒・学生に「性の健康」の話を伝える方を対象とした、「性の健康」学習を実践するための「企画編+実践編」180分の講座です。『性教育』への苦手意識を払拭し、無理なく・いままでもり楽しく、性の健康講座を企画・実践できることを目指します。また、項目を絞った専門的な「性」についての講座も可能です。まずはご相談ください。	教員、教員志望者、性について伝えることで困っている方など	ワークショップ形式、講義	
H37	保健学系	講師	山崎明美	子どもに性や恋愛をどう伝えるか	主に保護者の方を対象に、「子どもに性的行為についてどう向き合うか」「子どもと恋愛や性について語るには」「現代的な性的行為や性感染症の状況」「親世代のからだの変化とつきあい方」のいずれかの内容についてお受けいたします。まずはご相談ください。	子どもの保護者、ほかご希望者	ワークショップ形式	
H38	医学系	助教	金井 信一郎	HIV感染症の現状	HIVは年月をかけて徐々に免疫を低下させるウイルスで、発見が遅れるとさまざまな日和見感染症を起こしやすくなり、いわゆるAIDSに至ります。一方で、HIV治療の進歩は著しく、早期発見、早期治療によってAIDSへの進展を抑えることができ、日常生活を支障なく生活できるようになっています。HIV感染症の現状について、わかりやすくお話しします。性感染症も含め、感染症は全般的に対応可能です。	中・高、一般・医療・福祉関係者	講義	
H39	医学系	助教	金井 信一郎	感染症から身を守る	感染症から身を守るにはどうしたらいいのか、手洗い、うがい、マスクなどは本当に効果があるのかなど巷にあふれる感染対策のお話をします。ご希望に応じて手洗い方法の実習も可能です。	小・中・高、一般	講義・実技	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
【教育・心理】青少年・教育学・総合学習・学校教育・家庭教育・子育て・社会人大学院								
I1	総合人間科学系	准教授	荒井 英治郎	これからの学校教育のあり方を考える	近年の教育改革は、戦後改革を通じて実現してきた日本の教育制度の根本を見直すものとなっています。それでは、これまでの教育改革は何を目指し、何を果たしてきたのでしょうか。戦後以降の教育改革の流れと近年の教育改革の動向をわかりやすく解説します。	一般	講義・演習・グループワークあり	
I2	総合人間科学系	准教授	荒井 英治郎	これからの学校危機管理のあり方を考える	危機管理の理解が最も遅れているのが「教育界」と言われて久しいです。そこで、近年の学校における危機管理上の課題(学校安全、学校保健、災害対応、クレーム対応、ネットいじめ、個人情報保護、著作権保護、ハラスメント、不登校対策、虐待対策、貧困対策など)を整理し、どのような学校改善をしていくことができるかを共に考えてもらいます。	一般	講義・演習・グループワークあり	
I3	総合人間科学系	准教授	荒井 英治郎	これからの学校と家庭・地域の連携のあり方を考える	学校と家庭・地域の連携の重要性が指摘されて久しいです。そこで、学校と家庭・地域の連携に関する政策動向(学校評議員制度、学校運営協議会制度、(信州型)コミュニティスクール、放課後子どもプラン、学校支援地域本部、放課後子供教室、家庭教育支援、土曜日の教育活動推進プラン、放課後子ども総合プラン、地域未来塾など)を概観した上で、信州及び全国的な事例をわかりやすく紹介します。	一般	講義・演習・グループワークあり	
I4	総合人間科学系	准教授	荒井 英治郎	これからの教育行政のあり方を考える	平成26年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が約60年ぶりに改正され、教育委員会に関する改革が行われました。改革論議の引き金となったいじめ自殺への教育委員会の姿勢に対する批判は、その自治体の行政運営だけでなく教育委員会制度自体に向けられることになりました。教育委員会改革がなぜどのように行われたのか、その目的と課題をわかりやすく解説します。	一般	講義・演習・グループワークあり	
I5	総合人間科学系	准教授	荒井 英治郎	これからの学校関係者の「働き方」を考える	学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当て、OECD実施の「国際教員指導環境調査(TALIS)」により、改めて「教員の多忙化」が浮き彫りとなりました。そこで、日本の教員の働き方の現状と課題、今後の展望についてわかりやすく解説します。	一般	講義・演習・グループワークあり	
I6	総合人間科学系	教授	庄司 和史	子どものことばの発達と障がい	子どものことばの発達の道すじを知り、ことばやコミュニケーションの障がいがある子どもがどのように生じるかを解説します。また、ことばやコミュニケーションに障がいのある子どもが育っていくときに、どのように配慮が必要かを考えたいと思います。	中・高・一般	講義	
I7	総合人間科学系	教授	庄司 和史	人間の障がいとノーマライゼーション	障がいは、特別なことではなく私たちにとって身近な問題です。しかし、障がいのある人々は歴史の中で様々な差別排除されてきました。障がいを受け止め、障がいのある人と共に生きるためには私たち自身がどのように変化し、どのような配慮を行っていく必要があるかについて考えたいと思います。	中・高・一般	講義	
I8	総合人間科学系	准教授	光山 博敏	求められるグローバル人材とは	TPPをはじめ、国内外のグローバル化が進行する中、社会から求められるグローバル人材の本質とはどのようなものか、在米15年のキャリアを活かす方法をわかりやすく説明します。	高・一般	講義	
I9	人文科学系	教授	菊池 聡	「おたく」と呼ばれる若者たち	マンガ・アニメ・ゲーム・パソコンなど、いわゆる「オタク」文化は現代の社会で特異な地位を築いています。日本独自の文化として海外で評価されている一方で、日本での社会的評価は低いもの。おたくの心理的特徴と問題を考え、青少年にとっての「おたく」の未来のあり方を探ります。高校などで開講の場合は、生徒の皆さんには、事前に簡単なアンケート調査(匿名15分程度)へのご協力をお願いします。	高、一般	講義	
I10	人文科学系	教授	菊池 聡	だまされる心の心理学	私たちはなぜ詐欺師やオカルト番組、ニセ科学などに簡単にだまされてしまうのか、その心の働きを認知心理学から考え、ものごとを批判的に考えるための基本的な姿勢と知識を説明します。高校などで開講の場合は、生徒の皆さんには、事前に簡単なアンケート調査(匿名15分程度)へのご協力をお願いします。	高、一般	講義	
I11	人文科学系	教授	菊池 聡	ポジティブに生きるための心理学	毎日の生活や勉強、仕事の中で、私たちはさまざまなストレスにさらされます。そんな中で悲観的になったり落ち込んだりすることをどうすれば防ぐことができるでしょうか。単なる精神論や人生訓ではなく、科学的な「ポジティブ心理学」の成果をもとに、私たちの心の仕組みを適切に理解し、前向きで楽観的な生き方を実現するための「自分だまし」の方法を考えます。	高校・一般	講義	
I12	人文科学系	教授	菊池 聡	錯覚の不思議な世界	私たちの視覚と、実際の対象がずれてしまう不思議な体験が、眼の錯覚(錯視現象)です。たとえば、同じ長さや形の物体が、全く違って見えてしまいます。こうした錯視の数々を実験に体験しながら、心と脳が愉しくみを楽しんで学びます。講義形式ですが、少人数の場合は工作体験も可能です。学校で実施の場合、可能であれば心理学のアンケート調査にご協力下さい。	中・高・一般	講義	
I13	教育学系	准教授	青木 一	ほめる叱るのコメント力	ほめることは子どもの活力を生む最高のビタミン剤です。ほめる・励ますを「温かいシャワー」に例えるならば、たっぷりかけてあげることが大切です。叱るを「冷たいシャワー」に例えるならば、火照っている時にこそ効果的ですが、長いシャワーは禁物です。本講座では、これらのコメント力の向上を目指します。	一般	講義・演習・グループワークあり	
I14	教育学系	准教授	青木 一	アサーショントレーニングでさわやか自己表現	良好な人間関係を構築するには、相手を思いやりつつも、自分の考えはしっかり相手に伝え、さわやかな人間関係を形成するスキルを学ぶことから始まります。本講座ではアサーショントレーニングを通して、素直に自分を表現していく「さわやかさん」を目指します。	小中高般	講義・演習・グループワークあり	
I15	教育学系	准教授	青木 一	アイスブレイク10連発	アイスブレイクとは、初対面の人同士やまだ馴染みが薄い人同士が、話し合うきっかけを作ったり緊張をときほぐしたりするために行うちょっとしたゲームのようなものです。スポーツでいえば準備運動のようなもので、集まった人を和ませ、コミュニケーションをとりやすい雰囲気を作ります。本講座では、特に準備が要らず室内で簡単にできるものを紹介します。	小中高般	講義・演習・グループワークあり	
I16	教育学系	准教授	青木 一	達人に学ぶ授業力	全国の授業の達人からヒアリングで得た力量・能力(以下、コンピテンシー)を4つに分類し、「授業の4力」としました。本講座では授業力を向上したいと願っている先生方をサポートし、アクティブ・ラーニングを取り入れながら達人の知恵と技を学びます。	一般	講義・演習・グループワークあり	
I17	教育学系	准教授	青木 一	達人に学ぶ学級経営力	よりよい学級経営を進めていくためには、「学級の規範意識を育てる」ことに尽きます。そこで本講座では、学級の規範意識を測定する「シグナルII」を使い、自分の学級の規範状況を可視化するとともに、そのウィークポイントを克服する手立てを学級経営の達人から学びます。	一般	講義・演習・グループワークあり	
I18	教育学系	准教授	伊藤 冬樹	総合学習・課題研究等での研究のまとめ方・プレゼンテーション入門	総合学習や課題研究など、中学校、高等学校でも研究を行う機会が増えてきており、得られた成果を発表していくことが求められてきています。本講座は、「どうやって研究をまとめたいのか」「プレゼンテーションってどうすればいいの」といったニーズにお応えします。実際の状況に合わせて、論文のまとめ方、パワーポイントの構築の仕方など研究発表の方法について解説します。	中・高・一般	講義・実習	
I19	教育学系	准教授	岩男 考哲	「正しい/間違っている」とは違う日本語の見方	言葉の勉強と聞くと、「正しい日本語とは何か?」といった勉強だと思われがちです。それは一般社会にも広がっている考え方と言えます。しかし、言葉の勉強は「正しい/間違っている」の勉強だけではなく、ですが、こうした勉強は現在の日本では大学でしか行われていないのが現状です。そこで本講座では「正しさ」とは違う観点からの言語の見方を体験してもらいます。	中・高・一般	講義	
I20	教育学系	教授	岡田 匡史	図工・美術の授業の参観指導	学校で図工・美術の授業を観せていただき、指導者や他の関心ある先生方と授業研究会を持ちます。指導者の自評を伺った上で、授業を省察し自由に語り合い、最後に備忘録ながら当方より指導助言と提案を致したく存じます。※【お願い】:指導者は可能な範囲で「学習指導案」を用意し、あらかじめ私宛お送りください。	教員(小、中)	授業参観・授業研究会・講和	
I21	教育学系	教授	上村 恵津子	心理教育アセスメントの基礎	学校で様々な苦戦を抱える子どもをどのように支援したらよいのか?…このような支援の計画を立てる基礎となるのが「アセスメント」です。アセスメントの目的、方法、内容、留意点等について、学校心理学の視点から概説します。	教員	講義、演習	
I22	教育学系	教授	上村 恵津子	子どもとのコミュニケーションを考える	「子どもとコミュニケーションがとれない…」伝えたいこと・教えたこと・アドバイスしたいことはたくさんあるのに、そんな思いが子どもにうまく伝わらない。話をしようとする、すぐけんかになってしまう。…こんな子どもとの関わりをコミュニケーションやカウンセリングの視点から見直し、対応のポイントを探ります。	一般	講義、演習	
I23	教育学系	教授	酒井 英樹	第2言語習得のはなし(英語はどのようにして学ばれるか)	学習者が英語を学んでいくときにどのようなプロセスを経ているのかということを紹介しながら、第2言語習得のおもしろい知見や、英語学習への示唆に触れていきます。※必要なものは、プロジェクター及びスクリーンです。	高、一般	実習・実技あり	
I24	教育学系	教授	酒井 英樹	英語のコミュニケーション活動(小学校から高校まで)	英語によるタスク活動を含めたさまざまなコミュニケーション活動を体験します。そして、英語を使ってやりとりをする楽しさを味わいます。教員を対象とする場合には、コミュニケーション活動を英語指導に用いる際の考え方も触れます。※必要なものは、プロジェクター及びスクリーンです。	小、中、高、一般	実習・実技あり	
I25	教育学系	准教授	島田 英昭	わかりやすい説明とは?—認知心理学から考える—	「説明がわかりにくい」と思った経験はないでしょうか。機器の操作マニュアル、標識、教科書、案内状など、身の回りには様々な「説明」があります。本講座では、説明がわかりにくい原因を認知心理学の立場から分析し、わかりやすくするための方策を考えます。説明を考える、すべての方が対象です。	中、高、一般	講義(簡単な実習あり)	
I26	教育学系	准教授	島田 英昭	わかりやすい説明とは?—認知心理学から考える—【インターネット活用講座】	講座「わかりやすい説明とは?—認知心理学から考える—」のインターネット活用版です。受講者のみなさんには、スマートフォン、タブレットPC、パソコンなどを使い、事前にインターネットで授業を閲覧していただきます(通常版約90分、1.5倍速版約60分)。講演当日はその授業を前提にグループ演習を通して理解を深めます。「聞いているだけ」ではない、新しい講座を体験しませんか。	中、高、一般	講義・演習	
I27	教育学系	准教授	島田 英昭	日常生活にある心理学	中学生、高校生に対しては、「記憶力をよくしたい」、「心の健康をはかる」など、いくつかのトピックを通して心理学を紹介いたします。一般の方々に対しては、ご希望に応じて心理学に関する講演をします。演題例は、「心理学入門」、「心理学からみたモチベーションアップ術」、「防災の心理学」、「学習を科学する」などです。講義形式、演習形式など、ご相談に応じます。	中、高、一般	講義・演習	
I28	教育学系	准教授	島田 英昭	新しい時代の学習環境を考える	ICT環境の普及、大学入試の改革、知識の活用重視、アクティブラーニングの導入など、子どもの学習環境が大きく変わろうとしています。本講座では、私の専門である心理学的知見を提供しながら、新しい時代の学習環境について、みなさんと一緒に考えたいと思います。講義と演習を織り交ぜた講座を予定していますが、ご要望に応じてアレンジします。	小中高教員、一般	講義・演習	
I29	教育学系	准教授	鈴木 俊太郎	初めてのカウンセリング(初級者向け)	「カウンセリング」という言葉は誰も耳にしたことがあると思います。しかし、実際のその理論や実践を体系的に学ぶ機会はそれほど多くありません。臨床経験豊富な教員による講義と演習で、「カウンセリング」の入門的知識を体得します。また、人の話を聴く、もっと大人のコミュニケーションができるようになりたい、という方にもおすすめです。	高・一般	講義+演習	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
I30	教育学系	准教授	鈴木 俊太郎	解決志向型カウンセリングの実際(中級者向け)	カウンセリングの知識や技術を研修会などで身に着けた方にお勧めの中級編です。人が潜在的に持っているポジティブな部分に注目し、それを引き出すことで問題解決を図る、解決志向型カウンセリングの理論と実践をお伝えします。	高・一般	講義+演習	
I31	教育学系	准教授	鈴木 俊太郎	長野県の学校教育の良さを心理学的観点から語り尽くす	「長野県といえば教育県ですよ?」「いやいや、それは昔の話ですよー!」そんな会話を耳にしませんか? そんな言葉を口にしていませんか?「長野県は今も昔も教育県です!」そう言い切る秋田県出身の講師が、その言い分を心理学的知見を交えながら解説します。長野県の学校に携わる大人が、自らの誇りを取り戻し、今後の方向性を定めるために聞いていただきたいお話です。	一般(教員・保護者)	講義+演習	
I32	教育学系	准教授	鈴木 俊太郎	あなたの組織に活気と明るさを注入するワークショップ	みなさんが今所属している組織は、明るく、前向きな雰囲気を目指していますか?改革のきっかけには過去を振り返り、反省をすることも必要です。しかしながら、改革を推進し、目標達成に近づいていくためには、組織内のメンバーの明るく、前向きな思考がとて大切になってきます。心理学の力を借り、あなたの組織を元気にする、講師がとくに皆さんをポジティブにするワークショップです。中・高の部活動の皆さん、教職員の皆さん、会社組織の皆さん、ポジティブを求めている方はぜひご用命ください。	中・高・一般	講義+個人ワーク+ペアワーク+グループワーク	
I33	教育学系	教授	高橋 知音	高等教育における発達障害学生の支援	高等教育機関で学ぶ、発達障害のある学生を支援するにはどうしたらよいか、その考え方や具体的方法などについて紹介します。概論的講義、支援者向けのより専門的講義、専門家向けの演習、少人数の事例検討など、形式や進め方は相談で決めます。	高等教育機関教職員、発達障害のある学生の支援に関わる専門職員	講義	
I34	教育学系	准教授	高橋 史	クラスを育てる社会的スキル教育	子どもたちが不安やストレスに負けず、気持ちをつましく伝えられるようになると、クラスの雰囲気はガラリと変わります。本講座では、子どもたちがリラクゼーション法や上手な謝り方等を体験的に学べる授業の事例とポイントをご紹介します、具体的な授業案を考えたいと思います。学級担任の先生が主な対象です。	教員	講義	
I35	教育学系	准教授	高橋 史	なぜ、この子は言うことを聞かないのか?—今日からはじめる行動改善法(入門編)	きちんと聞いて聞かせたはずなのに、子どもが言うとおりにできない、または同じことを繰り返してしまうという経験はないでしょうか。ひょっとしたら、「頭ではわかっている、体が動いてしまう」心のメカニズムが働いているかもしれません。本講座では、子どもが同じことを繰り返してしまう原因を行動心理学の立場から分析し、家庭でできる対応のポイントを考えます。	一般	講義	
I36	教育学系	助教	田中 真由美	英語教育における批判的読み	英語教育における批判的読み(クリティカル・リーディング)の方法について紹介します。どのような発問や読み取りの観点があれば英文を批判的に読めるのかを、異文化理解を目的として書かれた検定教科書の英文を使いながらワークショップ形式で解説します。	中・高・一般	講義・演習	
I37	教育学系	助教	田中 真由美	CAN-DOリスト形の学習到達目標と評価タスク	各中・高等学校でCAN-DOリストの形で学習到達目標を設定することが求められています。本講座では、学習到達目標と評価タスクの作り方とパフォーマンスの評価の仕方をワークショップ形式で解説します。	一般	講義・演習	
I38	教育学系	助教	田中 真由美	内容言語統合型学習(CLIL)を取り入れた英語の授業	近年、教科内容の学習と外国語の学習を統合した、内容言語統合型学習(Content and Language Integrated Learning: CLIL)がヨーロッパで普及し、日本の英語教育でも広まりつつあります。講座の受講者が児童・生徒であれば、CLILの授業を行います。一般対象の場合は、ワークショップ形式でCLILについて解説します。	小・中・高・一般	講義・演習	
I39	教育学系	教授	徳井 厚子	見つめ直してみよう 対人関係とコミュニケーション	コミュニケーションは人と人をつなぎ私たちの生活とは切っても切れない存在です。この講座ではさまざまな実践を通して自分自身のコミュニケーションをふりかえると同時に、対人関係構築のコミュニケーションについて考えることを目的とします。	中・高・一般	演習	
I40	教育学系	准教授	友川 幸	開発途上国の子どもたちの生きる力-日本の良さの再発見-	アジアやアフリカの開発途上国の子どもたちの日常生活や学校の様子、健康問題について、現地での滞在経験をもとにお話します。異なる言語や、文化や食習慣、生活様式に触れることで、日本の生活や文化のいい所、悪い所を一緒に考えてみましょう。	小、中、高、一般	要相談	
I41	教育学系	助教	藤田 育郎	Gボール(バランスボール)を使った「体づくり運動」の体育授業	新しい学習指導要領では、体育授業の充実、特に「体づくり運動」の指導の充実が求められています。本講座では、小学校学習指導要領解説に例示されている「Gボール(バランスボール)を使った運動」を①児童を対象とした体育授業または②先生方を対象とした実技体験・研修会として実施します。※1クラス分のGボールは、こちらから持参します。	小、教員(小)	実技	
I42	教育学系	教授	伏木 久始	諸外国の教育事情と信州教育	競争ではなく、学ぶ動機を優先する学校教育、大学まで学費無料の福祉国家型教育政策、一人ひとりの学習スタイルを重視する教育方法の概要を紹介します。私たちが受けてきた教育、長野県の学校が今取り組んでいる教育をいろいろ他の国と比較しながら、とらえ直してみよう。信州教育の意義と課題を考え合います。	一般(教員、保護者)	講義	
I43	教育学系	教授	伏木 久始	家庭が望む学校教育と学校が望む家庭教育	めまぐるしく変動する教育政策の下で、多様な教育ニーズをもつ個々の家庭と、伝統的な価値を大事にする学校とが、子どもの教育実践にどのように連携すべきかを考え合います。	一般(教員、保護者)	講義	
I44	教育学系	教授	伏木 久始	“ふつう”という思い込みに気づくワークショップ	私たちは自分の限られた経験をもとに、自分の視野の限界を意識しないままに「判断」しています。そのことは「ふつう」のことですが、異なる言語や、文化や異なる集団や自分とは違うタイプの人と接する際に配慮したいことがあります。それを考え合うワークショップです。(1時間程度の場合は講演形式で行います)	一般、教職員、児童・生徒、保護者、すべてOK(応相談)	講義+ワークショップ	
I45	教育学系	教授	伏木 久始	人口減少社会と教育のあり方(ご要望に応じて演題もアレンジします)	近年、全国的に人口減少問題が深刻化しています。過疎化、少子化が進む長野県の実態に即して、未来の社会を担う子どもたちにどのような教育環境を用意すべきなのかを一緒に考え合います。	一般	講義	
I46	教育学系	教授	三崎 隆	真のアクティブ・ラーニングへの近道	学校の授業において、児童・生徒はどのように「学び合い」によるアクティブ・ラーニングを進めているのか、『学び合い』によるアクティブ・ラーニングにはどのような良さがあるのか、そして児童・生徒のより良い理解を図るために学び合う教室をどのように構築したら良いのかについてお話しします。今後の授業改善にお役立てください。※講座の実施に当たってはプロジェクターとスクリーンをご準備ください。	教員(小、中)	講義	
I47	教育学系	准教授	水口 崇	対象喪失:大切な対象を失ったとき	人生の中で、我々は大切な対象の喪失を必ず経験します。両親やきょうだい、配偶者、友人の喪失、病気や怪我、加齢による身体の機能や自由の喪失、職業や社会的地位の喪失など、依存し必要不可欠であった対象を喪失することは誰もが経験することです。凄惨な事件や事故が次々の起こる現代社会の中で、悲しみを直視し、それに耐えていくことの意義について説明します。	中・高・一般	講義	
I48	教育学系	准教授	水口 崇	乳幼児期の言語発達と障害	乳幼児期は、多種多様な能力が発達する時期です。なかでも、言葉の発達は著しく、叫喚が音声に変化し、意味のある単語が発せられます。そして、急速に語彙の数を増やし、複雑な文法の文を話すようになります。この時期の言語発達のプロセスを解説すると同時に、発声やコミュニケーションなどの障害について解説致します。	幼稚園教諭・保育士など	講義	
I49	教育学系	准教授	水口 崇	乳幼児期の愛着形成とその後の影響	愛着(アタッチメント)は、特定の対象に向けられる情緒的な絆のことです。養育者と過ごす毎日の中で、愛着が形成されます。愛着にはタイプがあり、それによって重要な人物とのコミュニケーションが変わってきます。さらに、乳幼児期に形成された愛着のタイプは、青年期以降にも保持されており、一定の影響をもたらします。講義では愛着の形成とその後の影響について解説します。	幼稚園教諭・保育士など	講義	
I50	教育学系	准教授	水口 崇	乳幼児期の社会性の発達と支援	集団で生活していく上で、適切な社会性を身につけることは不可欠です。乳幼児期は、家族以外の集団と初めて生活を始める時期です。それ故に、必ずしも円滑に集団になじんでいくとは限りません。本講義では、社会性の発達と集団になじめない乳幼児に対する支援について解説します。	幼稚園教諭・保育士など	講義	
I51	教育学系	准教授	水口 崇	「まね」による学び	我々は、先人の発見や創造を学ぶことで、文化的な生活を享受しています。発見や創造の学習は、子どもも大人も「まね」を通して行われます。特に、社会・文化集団に初めて参入していく乳幼児期の子どもにとって、「まね」は重要な役割を果たしています。この講義では、「まね(模倣)」を通して乳幼児・児童の学びやヒトの模倣の独自性などを解説します。	幼稚園教諭・保育士・小学校教諭・一般など	講義	
I52	教育学系	助教	森下 孟	はじめてのICT活用教育実践講座	デジタルテレビによる拡大提示やフラッシュ型教材の利用など、誰でも簡単にできるICT活用指導法を紹介し、明日から実践できる「ICTを活用した協働的な学びづくり」を一緒に考えます。	教員(幼小中高)	講義・演習	
I53	教育学系	准教授	谷塚 光典	教職ポートフォリオの作成	教師としての専門的能力を示し自己の教育経験を省察するために教職ポートフォリオを作成していく講義と演習です。※受講者は、学習指導案(1時間分)と教室(ホームルーム又は特別教室)の写真など、日常の教育活動の資料に関する電子データを用意してください。	教員(幼小中高)	講義・演習	
I54	工学系	教授	アサノ デービッド	外国人が日本に来てどう思うか	国際社会を実現するために、まず様々な国の考え方の理解が不可欠です。日本に多くの外国人が訪れたり、移住したりしますが、日本や日本人についてどう思うのでしょうか?本講座では西洋人である講師の考えを述べます。	一般	講義	
I55	工学系	教授	アサノ デービッド	外国と日本の学校の違い	外国の学校って、日本とどう違うの?本講座では、この質問に答えようと思います。主に講師の出身国カナダについて述べますが、アメリカの学校の様子も取り入れます。	小、中、高、一般	講義	
I56	繊維学系	教授	村上 泰	ビジョン・協働・育成	『ビジョン』を考えるとことはますます大切になってきています。「モノではなくヒトに注目する」という視点でお話をします。『協働』はますます重要になってきています。「自分らしさを大切に、相手らしさも大切に」という視点でお話をします。『育成』はますますむずかしくなっています。「同じ目線で寄りそう」という視点でお話をします。	一般	講義	
I57	繊維学系	教授	村上 泰	横社会のコミュニケーションとは～自主性を高める～	大学生と接していると、若者は横社会の考え方をしていると感じます。親や先生や上司が縦社会の考え方をしている、コミュニケーションがうまくいきません。若者の将来を思うあまり「こうしたらいい」と強制してしまい、自主性を損なってしまいます。「自主性を尊重したらうまくいかないのでは?」という疑問に答えます。	一般	講義	
I58	繊維学系	教授	村上 泰	不安に感じている中学生が自信をもつために	成長の過程で不安に感じている中学生に対して「自分から勉強すること」「まわりの人に働きかけること」の大切さをお話します。「実力アップを実感する」「興味のあることを調べる」「誰かの役にたつ」ということから勉強に対する姿勢を考えます。また、自分とは異なる考え方を認めることの大切さ、まわりの人との接し方をアドバイスします。	中・一般(中学生と一緒に)	講義	
I59	繊維学系	教授	村上 泰	ひとりひとりの力を活かすには～チームワーク力を高める～	チームの誰かがリードすると、他のメンバーは「何も考えず」、その人に従うようになります。メンバーひとりひとりが考えなければ、それぞれの力を活かすことができません。チームの中で、みんなが意見を出しやすい雰囲気をつくるにはどうしたらよいのでしょうか?「各自の力を足し合わせた以上の力を出せるチーム」について、話をします。	中、高、一般	講義	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
【J 文化・芸術】言語・文学・音楽・美術								
J1	総合人間科学系	准教授	有路 憲一	謎解き英文法 英文法は覚えるな!! ～覚える英文法から使える英文法へ～	文法は、日本語でも英語でもどんな言語でも、言葉の基礎です。しかし、文法(ここでは英文法)は、「覚えることばかりで嫌い」「なぜそうなるのか理由が分からないのに覚えるだけで退屈」と感じる人も多いでしょう。でも、背後にある理由はたいへんシンプルでなるほどと思えるものばかりで、覚える必要なんてありません。文法嫌いな人を救うために、英文法にまつわる謎を解いていきます。	高、一般	講義	
J2	総合人間科学系	准教授	金沢 謙太郎	アジアのお香:熱帯雨林と文化	沈香は日本で15世紀後半、茶道、華道と並んでおこった東山文化の一つ、香道で使われている香木の樹脂です。今でも根強い人気があり、熱帯雨林の「宝石」と呼ばれます。さて、沈香はどこから来るのでしょうか。原産地の環境や採集者の暮らしなどを報告します。	高・一般	講義	
J3	総合人間科学系	教授	近藤 富英	異文化理解の楽しさと常識・非常識・異質なものととの共存について	文化には衣食住や文化遺産のように「目に見える文化」のほか、価値観や物の捉え方、コミュニケーション・スタイルなどのようになかなか気づきにくい、いわば「目に見えない文化」もあります。こちらでは誠実なつもりが、他の国や文化の人にはかえって失礼になることもあります。異文化にまつわる多くの事例を紹介しながら、異質なものととの共存方法とグローバル時代のコミュニケーションのあり方について考えます。	中、高、一般	講義	
J4	総合人間科学系	教授	近藤 富英	最新英米文化事情の紹介—看板や広告から見る英米の価値観とコミュニケーション・スタイル	英語の看板や掲示物、広告、パンフレット、ちらしなどは文化や社会を映す鏡です。英米で入手した多くの資料を紹介しながら、使われている英語やユーモア溢れる表現、さらにはその背景にある文化事情や価値観など、さまざまな最新英米文化事情を解説します。日本や日本語の理解、海外旅行にも役立ちます。	中・高、一般	講義	
J5	総合人間科学系	教授	近藤 富英	クマのプーさんとピーターラビット、そして英国を思い切り楽しむ	クマのプーさんとピーターラビットの一部を英語と日本語で楽しみながら、作者とその時代背景を解説します。作者のA. A. ミルンとビアトリクス・ポターの過ごしたロンドンや作品が生まれたアッシュダウンの森や湖水地方の魅力にも触れます。CDや視聴覚資料もたくさん使用します。	中・高、一般	講義	
J6	総合人間科学系	教授	橋本 純一	信州におけるJクラブの意義	「スポーツを文化として健全に発展させ、信州の市民がクオリティ・ライフを実現するために、プロサッカーリーグ(Jリーグ)のクラブの存在が何故に重要か」を検討します。	一般	講義	
J7	総合人間科学系	准教授	松岡 幸司	ドイツ語技能検定試験の受験準備講習会	春と秋に行われるドイツ語技能検定試験(独検)に関する説明と対策(主に3・4・5級)の講習会です。	中、高、一般	講義と演習	
J8	全学教育機構	外国語准教授	延 鎮淑	韓国文化	韓国語や韓国の様々な文化を分かりやすく紹介します。	小、中、高、一般	講義	
J9	人文学系	准教授	飯岡 詩朗	物語映画の(くしみ)	私たちが映画を見ながらハラハラドキドキするのは、物語の内容によるよりも、むしろその提示のしかたによります。いわば、私たちがハラハラドキドキさせる(くしみ)があるのです。そして、その(くしみ)は100年前にほぼ完成しています。実際にその頃作られた短編映画を見ながら、現代でも用いられる物語映画の(くしみ)を解説します。※要プロジェクト、スクリーン、スピーカー	小、中、高、一般	講義	
J10	人文学系	准教授	金井 直	誰のための修復?	ときどき、昔の絵画が修復によってあざやかによみがえった、といった話を聞きますが、そもそも何のために修復は行われるのでしょうか。「よみがえる」必要はあるのでしょうか。西洋美術にまつわる修復の歴史を概観しつつ、わたしたちと文化財の好ましいつき合いのかたについて考えます。	一般	講義	
J11	人文学系	教授	杉野 健太郎	アメリカ文学・文化について(具体的題目は要相談)	アメリカの文学・文化と歴史に映像を絡めたトピックが得意です。特に「英学・米学事始」(日本と英米・英語とのかわりと英米研究について話します)ですと準備期間が短くても大丈夫です。	中、一般	講義・演習	
J12	人文学系	教授	杉野 健太郎	英語はこう学べ(または、英語リスニングはこう学べ)	英語の効率的な学習法について話します。特にリスニングは、著書に基づいたドリルも可能です。「英語発音矯正法」、TOEIC関連、テキスト講義など相談に応じます(連続講座も可)。また、「英学・米学事始」というタイトルで日本人と英語との関わりを扱った講演も大丈夫です。	中、一般	講義・演習	
J13	人文学系	准教授	花崎 美紀	英語らしい英語を話すためには	英語は「覚える」ものとして、つまり、暗記の対象と思われがちですが、「英語らしい英語」とはなにかを、英語の音・語・文構造・談話構造を日本語のそれらと比較することから考えることを通じて、「覚える」のではなく「理解」して「使う」ものであることを理解し、英語らしい英語を話すためにはどうすればいいのかにせまります。※週日のみ出講になります	高、一般	講義	
J14	人文学系	教授	吉田 正明	シャンソン文化史	シャンソンの歴史を辿りながら、フランスにおけるシャンソンの実像を探っていきます。	中、高、一般	講義	
J15	教育学系	教授	池田 京子	合唱指導	小・中・高等学校で、合唱指導をします。声を出す基礎基本から、楽曲の指導、希望があれば指導者へのアドヴァイスをします。また、一般の合唱団へも、レヴェルに合わせた同様の指導をします。	小、中、高、一般	実習・実技あり	
J16	教育学系	教授	池田 京子	声楽指導「イタリアのカンツォーネやドイツ・リートを歌いましょう」	呼吸法や発声法の基礎を学び、イタリアのカンツォーネ「オー・ソーレ・ミーオ」や「帰れソレントへ」を歌ってみましょう。また、シューベルトの「菩提樹」や「アヴェ・マリア」などのドイツ・リートの指導をします。	一般	実習・実技あり	
J17	教育学系	教授	岡田 匡史	楽しもう!美術鑑賞(ルネサンス～現代美術)	初期ルネサンス(14世紀)辺りから現代美術を範囲とし、その内から数作をピックアップし、解説・対話を交えながら愉しく鑑賞したいと思えます。一応講義形式となりますが、小・中学生が対象の場合は、年齢に合わせた鑑賞の授業を致します。※準備物品:スライド映写機又はプロジェクター、暗幕、スクリーン	小、中、高、一般	講義又は鑑賞授業	
J18	教育学系	助教	桐原 礼	プレママとママのためのお話と音楽	乳幼児は、歌や手遊び、絵本などを通してたくさんのお話を聞いています。これから赤ちゃんを迎えるプレママ(パパ)、ママ(パパ)になった方々が、どのように音楽や絵本を通して乳幼児に接していったら良いか、一緒に体験しながら考えましょう。	一般	講義・実技	
J19	教育学系	准教授	小林比出代	読みやすい文字を書くために一文字の成り立ちを楽しみながら	「美文字」が脚光を浴びている昨今、私たちが日頃使っている文字について、その成り立ち等のよみや話を楽しみながら、それらの書き方に共通する「約束事」を確認しつつ、実際に日常用いている硬筆筆記具で書いてみましょう。(鉛筆をご持参ください。)	一般	講義 演習	
J20	教育学系	教授	齊藤 忠彦	「音」「音楽」を楽しもう!	身近に存在する「音」、楽器を使った「音」を楽しみましょう。そして、即興的に奏でられる「音楽」の魅力を味わいましょう。アフリカの打楽器(ジャンベ)などの民族楽器を使用する予定です。	小、中、高、一般	実習・実技あり	
J21	教育学系	准教授	田島 達也	合唱指導(実習)	童謡や唱歌の合唱曲をはじめ、さまざまな合唱曲の指導を行います。発声法や表現法を中心に指導いたしますが、楽しく、レベルに応じた指導を心がけたいと思います。学ぶ曲が決まっている場合、前もって送付いただけるとありがたいです。なお、ピアノのある教室等が必要となります。※出講日は土・日・祝日を希望します。	一般	実習・実技あり	
J22	教育学系	准教授	友田 義行	文豪たちの児童文学	いわゆる「児童文学作家」ではない作家たちが書いた、子ども向けのお話を取り上げます。芥川龍之介、有島武郎、安部公房、野坂昭如、筒井康隆といった作家には、子ども向けの傑作小説が多々あります。なぜ普段は大人読者に向けて書いていた彼らが、あえて子ども読者を対象にした作品を発表したのでしょうか。そこにはどんなメッセージや野望が込められていたのでしょうか。小説やエッセイを読みながら考えていきます。	中・高、一般・教員	講義	
J23	教育学系	准教授	友田 義行	映画のおもしろさとおもしろさ	映画は人々に夢をあたえ、笑いと涙をもたらす、感動を届けます。映画は生まれたときから、娯楽の王様でした。しかし、映画はやがて娯楽以外の目的に利用されるようになります。映画のもつ「おもしろさ」と、それが悪用されたときの「おもしろさ」の両面を、映像を見ながら考えていきます。 ※パソコンを使って映像を提示しますので、プロジェクターとスクリーンをご用意ください。	中・高、一般・教員	講義	
J24	教育学系	教授	中島 卓郎	鍵盤音楽の魅力さをさぐる—バッハからショパンまで—	バッハの音楽観や作曲技法にはじまり、偉大な芸術家の作品の特徴や芸術観について文化的・歴史的背景と関連させて概説します。	中、高、一般	講義	
J25	教育学系	教授	西 一夫	万葉集のナゾ	従来、読まれているようで十分に理解されていなかった作品が万葉集にはあります。そうした作品を取り上げて作品の実態をあきらかにします。古典作品は敬遠されがちですが、丁寧に見ると豊かな表現が広がっています。一つ一つの言葉をしっかり読み取ることから作品が描き出す世界に迫ります。	小、中、高、一般、教員	講義	
J26	教育学系	教授	西 一夫	古典文学の窓—本当は面白く、楽しいんです—	古典文学に対する意識の高まりがある一方で高校生の八割以上が「古典嫌い」という現実があります。この講座では、小学生は楽しく古典と接し、中学生と高校生には表現の中に込められた作品の本当の姿を、さらには教員や一般の方へは肩肘張らず楽しめて授業の小ネタにもなる古典の面白い世界をご紹介しますと思います。	小、中、高、一般、教員	講義	
J27	教育学系	准教授	水口 崇	言語の身体的基盤	近代言語学の祖、フェルディナンド・ソシュールは、恣意性の概念を提案しました。これによって、言語ラベルとそれによって指し示されるものに、必然的な関係が皆無であることになりました。しかしながら、恣意性の概念には幾つかの例外が残されています。それらの探求により、言語の意味には身体が成立基盤となっていることが明らかになりました。本講義では、言語の身体的な基盤について解説します。	一般	講義	
【K 情報・コンピューター】情報化社会・コンピューター・セキュリティ・インターネット・IT技術								
K1	総合人間科学系	教授	鈴木 治郎	広がる電子書籍	2010年は何年度目の「電子書籍元年」でしたが、今までと違うところは、すでにスマートフォンやiPadなどのインターネットにつながり、そして電子書籍端末にもなり得る機器が4000万台近く世の中に出回っていることです。こうした端末機器とインターネットが相補的に発展させていく電子書籍の世界を、実際に端末機器にも触れながらいっしょに考えてみましょう。	中・高、一般	講義(含む演習)	

平成28年度 出前講座演題一覧

※ ○印の講座は、実施料の支払い方法が他と異なります。
お申込みの際にお問合せください。

分類	所属(学系)	職名	漢字氏名	演題	内容	対象者	講座形式	※
K2	総合人間科学系	教授	鈴木 治郎	検索と付き合う	インターネット利用の浸透に伴い何かわからないことがあれば、まずは検索という時代になりました。しかし検索でわかることは何があり、わからないことには何があるのでしょうか。そんな検索情報の正しい読み方を、図書館でわかることも比較しながらいっしょに考えてみましょう。本講座では受講対象に応じて扱う問題や演習内容を環境、健康、教育など設定します。	中・高・一般	講義(含む演習)	
K3	総合人間科学系	教授	矢部 正之	ICTを利用した授業改善	コンピュータやネットワークを利用して、初等中等教育(K-12)から高等教育に至るまでの教育を改善、改革する方策や、その意義について解説します。	一般	講義	
K4	人文科学系	准教授	佐藤 広英	インターネットの心理学	インターネットは身近で便利なコミュニケーションの道具です。本講座では、インターネットが私たちの心理やコミュニケーションに与える影響を解説すると共に、インターネットを安全に利用する方法について考えます。※可能であればプロジェクトとスクリーンをお願いします。	中・高・一般	講義	
K5	教育学系	教授	西 正明	コンピュータでゲームをつくろう	VisualC#を用いてゲームをつくりながらプログラムを理解していきます。VisualC#は部品を画面に張り付けて、若干のコードを記述するだけで、ビジュアルな動きのプログラムをつくることができます。開催時間は3時間程度(100分間程度にも圧縮可能)。VisualC#の特にゲームに関連する部分を紹介し、ゲームのサンプルを改良していきます。プログラミング体験のみなら50分も可能。	中、高、一般	演習	
K6	工学系	教授	アサノ デービッド	マジカル・ミラー	講演よりも、遊びながらコンピュータで画像処理が体験できるデモです。カメラの前に立つと自分の顔がいろいろな形に変形されます。おもしろいものから怖いものまで、いろいろな顔を作ってみてはいかがでしょう。	小、中、高、一般	実習・実技あり	
K7	工学系	教授	香山 瑞恵	Let's GO GO マジカル・スプーン!	「コンピュータにおける情報の処理」に関して、学習者が体験的にその仕組みを学習できる講座です。学習者がソフトウェア技術者の立場で学習活動に参加します。そのような学習活動を行うことで、情報処理の仕組みのみならず、情報処理技術者の役割とも実感できます。※プロジェクターをご用意ください。	小、中、高、教員(高)	講義+ワークショップ	
K8	工学系	教授	山本 博章	コンピュータサイエンス入門-コンピュータの能力の限界を探る-	アルゴリズムとは、コンピュータで計算するための処理手順のことです。どのような問題もコンピュータで計算するためにはアルゴリズムが必要です。では、コンピュータで解けない問題はあるのでしょうか。本講座では、最近の並列コンピュータの話題も含め、コンピュータの能力の限界について、平易にお話いたします。	中、高、一般	講義	